

平成 2 8 年 度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1 設立目的及び概況	1
2 役員等の状況	2
3 理事会等の開催	4
4 定款の変更	4
5 職員の状況	5
6 事業の実施状況	6
7 事業報告の附属明細書	7 7

第2 決算報告書

1 貸借対照表	7 8
2 貸借対照表内訳表	8 0
3 正味財産増減計算書	8 1
4 正味財産増減計算書内訳表	8 5
5 財務諸表に対する注記	8 9
6 附属明細書	9 1
7 財産目録	9 2

事業報告書

第1 事業報告書

平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円(全額広島市出資)であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円(うち広島市出資1億円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ロ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理事長	1人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	11人
監事	2人
評議員	12人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成28年 4月 1日	専務理事	佐名田 敬 荘	役職変更
	常務理事	栄 谷 洋	就 任
	監 事	藤 田 悟	就 任
平成28年 6月 9日	理事長	竹 内 功	重 任
	常務理事	南 心 司	重 任
	監 事	藤 田 悟	重 任
平成29年 3月28日	理 事	岩 崎 誠	辞 任
	理 事	宮 崎 智 三	就 任
平成29年 3月31日	理事長	竹 内 功	辞 任

イ 平成29年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理事長	竹 内 功	平成27年 7月 1日
専務理事	佐名田 敬 荘	平成27年 4月 1日
常務理事	栄 谷 洋	平成28年 4月 1日
常務理事	南 心 司	平成27年 4月 1日
理 事	石 田 源次郎	平成24年 4月 1日
理 事	打 越 勲	平成17年 7月 1日
理 事	垣内田 攻 樹	平成19年 7月 1日
理 事	児 玉 吾 郎	平成27年 3月27日
理 事	中 越 信 和	平成17年 7月 1日
理 事	中 原 裕 子	平成27年 6月10日
理 事	梶 井 秀 雄	平成17年 7月 1日
理 事	益 淵 正 典	平成21年 7月 1日
理 事	松 本 幸 雄	平成21年 7月 1日
理 事	宮 崎 智 三	平成29年 3月28日
理 事	渡 邊 一 雄	平成17年 7月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
監 事	神 田 敏 治	平成19年 7月 1日
監 事	藤 田 悟	平成28年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動内容
平成28年 6月 9日	評 議 員	小 野 寛	退 任
	評 議 員	鈴 木 榮 子	退 任
	評 議 員	松 上 三 智	退 任
	評 議 員	大 橋 啓 一	就 任
	評 議 員	玖 島 操	就 任
	評 議 員	富 川 久美子	就 任
	評 議 員	尾 楠 美代子	重 任
	評 議 員	真 宅 成 光	重 任
	評 議 員	竹 澤 寿 幸	重 任
	評 議 員	寺 内 優	重 任
	評 議 員	中 島 昌 子	重 任
	評 議 員	中 島 保 廣	重 任
	評 議 員	中 坪 孝 之	重 任
	評 議 員	林 哲 治	重 任
	評 議 員	藤 井 敏 男	重 任

イ 平成29年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	大 橋 啓 一	平成28年 6月 9日
評 議 員	尾 楠 美代子	平成26年 3月27日
評 議 員	玖 島 操	平成28年 6月 9日
評 議 員	真 宅 成 光	平成24年 4月 1日
評 議 員	竹 澤 寿 幸	平成25年 8月 1日
評 議 員	寺 内 優	平成25年 6月10日
評 議 員	富 川 久美子	平成28年 6月 9日
評 議 員	中 島 昌 子	平成24年 4月 1日
評 議 員	中 島 保 廣	平成24年 4月 1日
評 議 員	中 坪 孝 之	平成24年 4月 1日
評 議 員	林 哲 治	平成27年 3月27日
評 議 員	藤 井 敏 男	平成24年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成28年 5月25日	平成28年度 第 1 回	1 平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成27年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
平成28年 6月 9日 (決議の省略)	平成28年度 第 2 回	1 理事長の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
平成29年 3月 7日 (決議の省略)	平成28年度 第 3 回	1 平成28年度第2回評議員会の招集について	原案可決
平成29年 3月28日	平成28年度 第 4 回	1 平成29年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 2 平成29年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成28年 6月 9日	平成28年度 第 1 回	1 平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 監事の選任の決議について 5 平成27年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 選任 選任 終了
平成29年 3月28日	平成28年度 第 2 回	1 理事の選任の決議について	選任
平成29年 3月31日 (決議の省略)	平成28年度 第 3 回	1 理事の選任の決議について	選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成29年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区 分		事 務 職 員						技 術 職 員						技能業務職員	非常勤職員	合 計
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計			
緑化管理部	経営企画課		2	1	4	2	9					3	3	1	3	16
	昆虫館				1		1		1	1	2	2	6	1	1	9
動物公園	管 理 課		1		2	5	8				1	3	4	3	17	32
	飼育・展示課								1	1	7	20	29		2	31
植物公園	管 理 課		1	1	2	2	6	1		1	2	1	5	1	1	13
	栽培・展示課								1		6	3	10		7	17
合 計			4	2	9	9	24	1	3	3	18	32	57	6	31	118

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり〔公1事業〕

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア

名 称	実施期間	場 所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	28年 4月 8日 ～28年 4月17日	中央公園 自由広場	広島市等と実行委員会を組織し、入口ゲートの花飾り、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約60,000人
秋のグリーンフェア	28年10月 1日 ～28年10月10日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、植物ふれあいオリエンテーリングや花と緑の講習会などを行った。	12,086人

(イ) 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数
インターネット・ホームページ広報 (76ページの収益事業等に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 143,840件
マスコミ広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	9件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

名 称	実 施 日	場 所	内 容	参加者数
苗木の植え方・育て方	28年10月 1日	植物公園 (秋のグリーンフェア)	記念樹緑化事業における苗木の配付に合わせ、苗木の植え方や育て方を指導した。	10人
クリスマスに ぴったりの寄せ植え	28年11月18日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、ポインセチア、アイビーヘデラ等を使用した、クリスマスにぴったりの寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
新春を迎える 寄せ植え	28年12月 9日	中央公園 ファミリープール	梅、葉牡丹、シクラメン、福寿草のほか、石材、コケなどを使用した、新春らしい寄せ植えの作り方を実演指導した。	12人
緑のカーテンを 楽しもう	29年 3月 8日	中央公園 ファミリープール	当協会が作製した緑のハンドブックをテキストとして、緑のカーテンに利用できる植物の栽培方法及び育成方法等を指導した。	20人

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付〔緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補助金の交付	28年 4月 6日 ～28年 5月 9日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	49 件	278,800 円
魅せる花づくり 補助金の交付	28年 5月 2日 ～28年 6月 6日 28年 9月 1日 ～28年10月 3日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	46 件	318,900 円
記念樹の贈呈	28年 7月16日 ～28年 8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	238 件	522,936 円
民間建築物等緑化 事業補助金の交付	—	ホームページなどで制度の案内を行ったが、交付申請がなかった。	0 件	—

(ウ) 緑化指導者の派遣〔緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
講習会への緑化指導者の派遣	通 年	草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 17 回 参加者数 352 人

(エ) 出版物の発行〔緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	発行部数
ハンドブック 「緑のカーテンをつくろう」	通 年	緑のカーテンの作り方やその効果を紹介したハンドブックを配布し、緑化意識の普及、啓発を図った。	2,500 部
フォトブック 「花と緑のある暮らし」の発行	通 年	協会設立40周年記念事業として、緑化基金事業を活用し、一般家庭や店舗・事業所において緑化に取り組んでいる様子を取りまとめたフォトブックを発行・配布した。また、冊子の内容はホームページにも掲載した。	3,000 部

ウ 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

< 広島市みどり生きもの協会奨励賞 >

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
ソーシャルガーデナー 倶楽部	実 務	市街地の公共空間や緑地などにおいて、花を絶やさないう花と緑で飾る活動を継続して行い、街中に美しい景観を創り出し、市民に潤いと安らぎの場を与えるなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に貢献した。

② 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔エントランスゾーン〕 アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	ヒヒ山では、放水清掃により展示場を清潔に保つとともに、「まいにち動物解説」を実施し、来園者へ情報発信を行った。アヌビスヒヒについては、計画的な繁殖により常時50頭前後の展示を継続することで、アフリカのコピエ（花崗岩の小山）に生息する群れの状態を再現した。また、色鮮やかなフラミンゴを展示した。
〔アフリカゾーンⅠ〕 アフリカゾウ、 アミメキリン、 グラントシマウマなど	アフリカの雰囲気を出するため、アフリカゾウ、アミメキリン、グラントシマウマなどを広い放飼場一帯に展示した。アフリカゾウについては、昨年度に続き雌（愛称：アイ）の発情時期に合わせて、雄（愛称：タカ）との同居を実施した。アミメキリンについては、平成28年3月に産まれた雌（愛称：アキコ）が順調に成育している。平成28年6月に雄（愛称：イブキ）を他園から借入れ、群れの充実を図った。グラントシマウマについては、平成28年4月から平成29年2月にかけて産まれた6頭が順調に成育している。ケープハイラックスについては、平成28年12月にみどり生きものサポーター募金により展示場内に暖房施設（ほっとコピエ）を導入し、寒い時期に寄り添いあう姿を見ることが出来る展示を行った。
〔アフリカゾーンⅡ〕 チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	アフリカに生息するチーター、クロサイ、ミーアキャット、アフリカスイギュウなどを展示した。チーターについては、敏捷な動きを観察できる展示を行い、繁殖に向けて同居を試みている。クロサイについては、平成28年8月に産まれた雌（愛称：ニコ）が順調に成育している。また、平成28年7月にクロサイのハナは50歳を迎え、長寿世界新記録を達成した。日々実施しているライノテラスでの「まいにち動物解説」では、多くの来園者に情報を発信している。アフリカスイギュウについては、平成29年2月に産まれた雌（愛称：タンゴ）が順調に成育している。ミーアキャットについては、10頭以上の群展示を行い、穴掘りや日光を浴びて立つ姿を見せた。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔サルのなかま〕 チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジー、マンドリル、ダイアナモンキーなど多様なサル類を展示し、その能力、形態、行動についてヒトとの違いを学べるよう、「まいにち動物解説」を実施したほか、枯葉や遊戯木を追加し獣舎内の環境改善を行った。チンパンジーについては、展示場内に設置したアリ塚から木の枝を利用して蜂蜜をなめとる姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の知能の高さが学べる展示を行った。また、マンドリルについては12年ぶりに繁殖に成功し、平成28年6月に産まれた雌(愛称マリン)は順調に育成している。
〔ピーちくパーク〕 ポニー、ミニブタ、 テンジクネズミ、 大型インコなど	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由にふれあえる広場を入園者に提供するとともに、ポニーの乗馬体験や、テンジクネズミとのふれあい体験を実施して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操のかん養を図った。また血統更新のため、テンジクネズミ10頭、ミニブタ4頭を導入した。ヒワコンゴウインコが2羽、ルリコンゴウインコが2羽、アオメキバタンが1羽孵化し順調に育っている。子育ての家ではオオサンショウウオの幼体・成体を展示した。
〔はちゅう類館〕 コウモリ、ムササビ ワニ、ヘビなど	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、コウモリやムササビなどを展示し、新たにスローロリスの雄を、血統更新のため導入した。2階には、ワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを展示した。
〔アジアの草食動物〕 マレーバク、 ブラックバックなど	マレーバク、ブラックバック、フタコブラクダ、キョンなどアジアの様々な環境に生息する草食獣を展示した。マレーバクについては、平成28年9月に雄(愛称：クニオ)1頭が生まれ、順調に生育している。ブラックバックについては、順調に繁殖しており、群れ展示を継続した。キョンについては、将来の整備計画を見据えて、繁殖制限に取り組んだ。
〔日本の動物〕 ツキノワグマ、 キツネなど	身近な動物について学ぶため、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、アナグマ、イノシシなど広島県内に生息する動物を展示した。タヌキについては、昨年に続き繁殖に成功し、6頭が育成している。
〔大鳥舎〕 オシドリ、マガモなど	オシドリの生息地である森林の河川や、マガモ、シジュウカラガンなどの生息地である開けた湿地・湖沼に似せた環境で、水鳥を展示した。オシドリ、バン、シジュウカラガンがそれぞれ繁殖に成功し、子育ての模様や成長過程が観察できる展示を行った。
〔西 園〕 シフゾウ、レッサーパンダ、 シロフクロウなど	シフゾウについては、雌の発情に合わせて、引き続き同居を行っている。レッサーパンダについては、平成27年6月に産まれた2頭の雌(愛称：キク、マル)が順調に育成したため、平成29年3月に、キクを放出した。フクロウについては、平成26年6月に人工孵化により誕生した2羽を人工育雛して無事育成した。当園のシロフクロウでは孵化・育雛ともに初の試みであった。

〔展示場所等〕 主な展示動物	内 容
〔肉食動物ゾーン〕 ライオン、トラ、 ヒョウなど	ライオンについては、平成29年1月に動物の生活環境や福祉向上を目的とした「ライオンのための床暖房」が完成しエンリッチメント（動物福祉）を強化した。アムールヒョウ、アムールトラについては、強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。また、他園から借入れたアムールヒョウの雄（愛称：アニユイ）と雌（愛称：チャイム）との同居に成功し交尾を確認した。

【動物の飼育展示数】

（平成29年3月31日現在）

区 分	種 類	点 数
哺乳類	63 種	724 点
鳥 類	48 種	580 点
爬虫類	33 種	228 点
両生類	4 種	129 点
魚 類	10 種	1,564 点
合 計	158 種	3,225 点

(イ) 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容																												
展 示 動 物 の 維 持 及 び 種 の 保 存	血統や余剰動物の管理を適切に行うため、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持した。																												
飼 育 下 繁 殖	マンドリル、クロサイ、グラントシマウマ、マレーバク、シロフクロウ、アフリカスイギュウ、オオフラミンゴ、ヒワコンゴウインコ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。																												
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借入れを行うことで、種の保存に貢献した。 (単位：頭) <table><tr><th colspan="2"></th><th>哺乳類</th><th>鳥類</th><th>爬虫類</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">28年度 新規</td><td>借入</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>貸出</td><td>3</td><td>7</td><td>0</td><td>10</td></tr><tr><td rowspan="2">全体</td><td>借入</td><td>18</td><td>10</td><td>1</td><td>29</td></tr><tr><td>貸出</td><td>31</td><td>29</td><td>0</td><td>60</td></tr></table> 28年度借入：アミメキリン（のいち動物公園） 28年度貸出：グラントシマウマ（福岡市動物園）、クロサイ（八木山動物公園）、ユーラシアカワウソ（よこはま動物園）、ルリコンゴウインコ（ときわ動物園、福岡市動物園）、ヒワコンゴウインコ（長崎バイオパーク）、シロフクロウ（京都市動物園）			哺乳類	鳥類	爬虫類	合計	28年度 新規	借入	1	0	0	1	貸出	3	7	0	10	全体	借入	18	10	1	29	貸出	31	29	0	60
		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計																								
28年度 新規	借入	1	0	0	1																								
	貸出	3	7	0	10																								
全体	借入	18	10	1	29																								
	貸出	31	29	0	60																								
動 物 交 換	新しい血統の確保や飼育動物の数量調整、新規動物の導入を目的として、不足動物を導入する一方、余剰動物を放出することにより、近交弱勢の防止や飼育環境の向上、動物公園の魅力アップを図った。 導入：ミニブタ、テンジクネズミ、ケープハイラックス 放出：グラントシマウマ、ケヅメリクガメ																												
血 統 登 録 ・ 血 統 管 理	希少な種の保存を進めるに当たり、（公財）日本動物園水族館協会が行う血統登録に協力した。 アミメキリンやスローロリスの雄を導入し、クロサイやレッサーパンダの雌を放出するなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。																												
動 物 の 飼 育 管 理 及 び 展 示 環 境 の 改 善	園内で飼育・展示する動物が健康で生き生きと過ごせるよう、適切な飼育管理、展示環境の改善を行った。																												
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。 高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類の隔離、放飼場への野鳥よけネット等の設置、入退場門等への踏み込み消毒マットの設置を実施した。また、平成28年12月27日からは大鳥舎、小鳥舎への入場を中止し防疫を行った。																												

名 称	内 容
展 示 環 境 の 改 善 (環境エンリッチメントの強化)	動物展示環境を改善して福祉向上のため、ケープハイラックス舎とライオン舎に暖房設備を設置した。また、生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、チンパンジー舎に消防ホースを使ったハンモックの設置や、サル舎等に渡り木を設置し落ち葉を敷き詰めるなど展示環境に工夫を加えた。

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料		
有 料 入 園 者	個 人		大人	18 歳以上 65 歳未満	510 円	170,720 人	87,067,200 円	
				65 歳以上	170 円	11,176 人	1,899,920 円	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170 円	2,924 人	497,080 円	
	年 間 パ ス ポ ー ト	購 入	大人	18 歳以上 65 歳未満	1,540 円	8,233 人	12,678,820 円	
				65 歳以上	510 円	577 人	294,270 円	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	6 人	3,060 円	
		提 示	大人	18 歳以上 65 歳未満	—	29,928 人	— 円	
				65 歳以上	—	2,256 人	— 円	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	5 人	— 円	
	団 体		大人	18 歳以上 65 歳未満	430 円	11,738 人	5,047,340 円	
				65 歳以上	130 円	263 人	34,190 円	
			小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2,732 人	355,160 円	
	優 待 割 引	個 人		大人	18 歳以上 65 歳未満	430 円	805 人	346,150 円
					65 歳以上	130 円	48 人	6,240 円
				小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	2 人	260 円
		年 間 パ ス ポ ー ト	購 入	大人	新成人	510 円	65 人	33,150 円
				提 示	大人	新成人	—	32 人
小 計					241,510 人	108,262,840 円		
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					243,066 人	0 円		
合 計					484,576 人	108,262,840 円		

(エ) 利用促進

名 称	実施期間	内 容	枚 数 等
「ポニー体験乗馬」 ポイントカードの発行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬参加者にポイントカードを配付し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 5,738 枚 特典供与人数 延べ 403 人
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 8,881 枚
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 92 冊
交通科学館との 相互利用促進 (広島高速交通㈱共同事業)	通 年	近隣施設の交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	1,460 人
公共交通機関利用者 への特典付与	通 年	駐車場不足による渋滞対策として、路線バスやアストラムラインを利用して来園した者に対し、売店、食堂等の商品割引サービスを行い、公共交通機関利用による来園を促進した。	1,749 人
旅行代理店と連携 した観光客の誘致	通 年	旅行代理店との共催イベントの参加者が作成した作品を園内に展示するとともに、参加者用の優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を旅行代理店を通じて販売し、参加者の来園促進を図った。また、旅行代理店が発行したクーポン券利用入園者に、売店、食堂等の商品割引サービスを実施することにより、観光客の増加を図った。	34 件
アニマルカードの 進 呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努めた。	8,704 枚
電動カートの運行	通 年	土・日・祝日に、勾配の急な西園等への移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	10,369 人

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
広島駅南口地下広場 柱巻案内看板の設置	通 年	J R広島駅南口広場にある柱に、安佐動物公園行きバス乗り場までを案内する写真看板を設置し、広島駅からバスを利用する来園者の利便性の向上を図った。	柱 写真 5 か所 延べ 50 枚
休 園 日 の 開 園	28年 5月 2日 28年 8月10日 28年 9月21日 28年10月 6日 28年10月13日 28年10月20日 28年10月27日 28年11月 2日 29年 1月 1日 29年 3月30日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、お盆、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	5,293 人 394 人 1,176 人 2,660 人 1,799 人 1,392 人 858 人 993 人 1,312 人 2,314 人 合計 18,191 人
がんばれカープ カープミニ 新幹線に乗ろう	28年 5月 5日 28年10月23日 29年 3月27日 ～29年 3月30日	安佐動物公園の活性化を目的として、㈱広島東洋カープから広島市に寄贈されたカープミニ新幹線を園内で運行するイベントを実施した。	2,268 人
宮島水族館との連携	28年 7月16日 ～28年11月27日	宮島水族館と連携し、合同PRイベントとスタンプラリーを実施し、より効果的な誘客活動を行った。	スタンプラリー参加者 安佐動物公園 1,112 人 宮島水族館 1,412 人
ミストトンネル	28年 7月16日 ～28年 9月30日	夏季の入園者増加対策として、霧のトンネルを通り抜けできる涼感コーナーを設置した。	—
外国語リーフレット・ ホームページの作成	リーフレット作成 28年8～9月 英語版ホームページ公開 28年11月～	外国人観光客へのサービス向上を目指し、外国語リーフレットなどを作成するとともに、ホームページの一部を英語化した。	英語版 2,000 部 中国語版 2,000 部
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	28年 8月13日 28年 8月14日 28年 8月20日 28年 8月21日 28年 8月27日 28年 8月28日 28年 9月 3日 28年 9月 4日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 5,656 人 6,825 人 5,480 人 3,420 人 6,407 人 599 人 7,379 人 1,949 人 合計 37,715 人

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
ノ ル デ ィ ッ ク ウオーキング用 ポールの貸出	28年10月 1日 ～29年 3月31日	安佐地区の住民で、安佐動物公園の年間パスポートを購入された方を対象に、ノルディックウオーキング用ポールの貸し出しを行うことで、地域の健康づくりの取組みを支援するとともにリピーターの増加を図った。	貸出件数 40 件
安 佐 動 物 公 園 ウオーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	28年10月22日	高齢者を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウオーキング大会を開催した。	81 人
動 物 公 園 で 茶 会	28年11月13日	園内で上田宗箇流による茶会を開催し、動物公園の魅力を向上させ、入園者に対するサービスの向上を図った。	82 人
動 物 園 で し め 縄 作 り	28年12月24日	お正月に向け、日本の文化であるしめ縄作りを体験した。	100 人
お客様感謝デーの実施	28年12月23日 29年 1月 9日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,704 人 2,304 人 合計 4,008 人
新成人年間パス ポート割引販売	29年 1月10日 ～29年 3月31日	平成29年5月末を期限として65歳以上の者と同額に割引くことで20歳代のリピーターの増加を図った。	販売 提示 65 人 32 人
バレンタインデーは 動物園でデート	29年 2月11日 ～29年 2月14日	バレンタインデーを含む週末に、独身カップルの入園者に飲み物券をプレゼントした。	配布 利用 98 枚 84 枚

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	内 容
大 型 模 型 の 設 置	広島市が寄贈を受けた、カバ、ゴリラ、ホッキョクグマなどの大型模型を館内や園内に設置し、来園者に見て触れて楽しめる撮影スポットや乗って楽しめる遊具として提供した。

名 称	内 容
施 設 の 維 持 管 理	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。 9月18日に日浦学区の土砂災害危険箇所への避難勧告（台風16号）発令により臨時閉園した。 1月15日に大雪警報のため臨時閉園した。
園 内 情 報 の 提 供	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
おもてなしの送迎	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。
ス マ ー ト フ ォ ン 等 用 園 内 ガ イ ド ア プ リ の 活 用	スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリの運用を開始した。運用開始日の4月16日には園内でPRイベントを実施し、来園者に周知を図った。 ダウンロード件数 4,032件

(カ) 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、ぴーちくパーク内わんぱく砦等遊具ネットの取替、ライオン舎近道園路の改修、動物科学館横スロープや横断陸橋橋桁の修繕などを行った。

(キ) 施設の機能充実

名 称	実施期間	内 容
みどり生きものサポーター・安佐動物公園募金等による施設の機能充実	通 年	より魅力的な施設を入園者に提供するため、寄附金を募集し、ケープハイルックス舎に暖房設備（愛称：「ほっとコピエ」）を、ライオン舎のレオガラス前に「ライオンのための床暖房」を設置した。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	6 回
希少動物の保護	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	28 点
姉妹動物園との交流	28年 9月 1日 ～28年 9月 6日	ホノルル動物園からの招待により、ホノルルで開催されたIUCN(国際自然保護連合)第6回世界自然保護会議に職員1名を派遣し、講演を行った。	1 回
日本オオサンショウウオの会の活動	28年10月 1日 ～28年10月 2日	島根県邑南郡邑南町で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1 回

(イ) 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、国土交通省から灰塚ダム貴重両生類保護管理業務を受託し、ナゴヤダルマガエルの保全活動に取り組んだ。	オオサンショウウオの野外調査 10 回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 6 回

(ウ) 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエル、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの飼育下繁殖や繁殖行動の調査などに取り組んだ。	2 回

(エ) 動物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	再整備に向けて、カバ及びマルミミゾウの導入に向けた飼育・展示技術の情報収集を行った。また昨年に引き続き、日本産動物の飼育・展示や園内に生息する動物の観察に関する調査研究、ダルマガエルやオオサンショウウオの生息調査、鳥類の性判別判定法の研究に加え、チーターの繁殖に関する調査研究及びフンボルトペンギンとスマイレコンゴウインコの雌の導入に向けた飼育・展示技術の調査を行った。
各種資料の収集	通 年	ズーイヤーブックなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・ビデオなどの制作	通 年	シロフクロウの人工育雛やグラントシマウマの搬出、キリンの搬入の様子などを写真・ビデオ等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	(公社)日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議、国際野生動物管理学会議などに参加・発表した。
オオサンショウウオ共同研究シンポジウムの開催	28年11月 6日	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進し、その成果をシンポジウムにより市民に公開した。 (参加者 120人)
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	29年 2月 8日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「広島市安佐動物公園でのシロフクロウの飼育と人工繁殖例」と題して発表した。 (参加者 65人)

(オ) 野生動物の救護

名 称	実施期間	件 数 等
野生動物の救護	通 年	哺乳類 6 件 5 種 6 点
		鳥 類 87 件 28 種 87 点
		爬虫類 7 件 3 種 7 点
		両生類 0 件 0 種 0 点
		計 100 件 36 種 100 点

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	実施期間（日）	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	96件 5,243人
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	小・中学生の学年やテーマ別に、クイズ形式のワークシートを作成・配布することにより、動物への関心や興味を喚起する機会を提供した。	配布枚数 24,000枚
ピーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ポニーの乗馬やテンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	乗馬 7,712人 ふれあい 52,587人
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	18件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	60人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	27件
教材資料の作製・貸出し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などを対象に貸出しを行った。	骨格標本等教材 87件 476点
大学・専門学校と連携したイベント実習	通 年	大学・専門学校と連携して、動物ふれあい活動やミニ動物園などを行い、学生が市民応対を通して、動物愛護思想の普及方法を実習できる機会を提供した。	6件
学べる動物園	通 年	展示動物の魅力を効果的に伝えるため、飼育係が楽しく分かりやすい解説板を作製し、動物舎前に設置した。	30件
青少年のための科学の祭典広島大会への参加	28年10月29日 ～28年10月30日	子どもたちが自然科学や科学技術の楽しさを体験する祭典に職員を派遣し、動物に関するレクチャーを行った。	400人

(イ) 学校教育への協力

名 称	実施期間（日）	内 容	件 数
出 前 講 座	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについて講座を行った。	22件
理科教育での連携	通 年	近隣にある日浦小学校での理科教育に講師の派遣、園内で体験学習、情報提供等により協力した。	7件
教材生物バザールへの参加	28年 5月18日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物資料を提供した。	1 件
教員対象セミナーの開催	28年 8月14日	教員と教員を目指す学生を対象に、主に中学校2年生で学習する「消化と吸収」の単元に必要な知識の普及を図った。	20人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
動物解説ボランティア	通 年	園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：58人	活動延べ人数 277 人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。作業ボランティア登録人数：46人	活動延べ人数 657 人
大学・専門学校との協働	通 年	大学・専門学校と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	広島大学 1件 静岡大学 1件 山口大学 1件 愛知教育大学 1件 岐阜大学 1件 麻布大学 1件 岡山理科大学 1件 酪農学園大学 1件 京都大学 1件 東邦大学 1件 明治学院大学 1件 広島国際大学 1件 近畿大学 1件 バックネル大学(米国) 1件
アフリカゾウの一日警察署長（安佐北警察署）	28年 4月23日	例年交通事故件数が多いゴールデンウィークに向けて、アフリカゾウのメイが「一日警察署長」として交通安全に関するパフォーマンスを披露した。	500 人

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
鹿角ストラップづくり （（公財）広島市文化財団）	28年 4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供した。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	1,100 人
動物園で投票体験 （広島市選挙管理委員会）	28年 6月 4日 ～28年 6月 5日	公職選挙法等の改正により、7月の参議院議員通常選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、模擬投票等の選挙イベントを実施し、若年層の選挙に対する関心を高めた。模擬投票の投票対象を展示動物とすることにより、動物の知識の普及を図った。	模擬投票者数 6月4日 319 人 6月5日 258 人
ASA ZOO-ZOO ふ れ あ い 広 場 （㈱広島東洋カープ）	28年 7月23日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	テンジクネズミふれあい 156 人 ヒヨコふれあい 242 人
ひろしま温暖化ストップ フ ェ ア への 協 力 （ 広 島 市 環 境 局 ）	28年 7月29日	フェアに参加し、オオサンショウウオの展示などを通じ生物多様性の大切さと、地球環境保全の必要性について啓発した。	3,700 人
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー （ジブラルタ生命保険㈱）	28年 8月 7日	障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	2,572 人
夕暮れコンサート （（公社）広島交響楽協会）	28年 8月14日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	550 人
安佐南区子ども会 連 合 会 写 生 大 会 （安佐南区子ども会）	28年 8月17日	子ども会連合会による写生大会を平成28年度から共催により実施した。	650 人
わくわく！安佐動物公園 夏休み思い出作り （サンスター ㈱）	28年 8月28日	動物の歯や生態に関するステージイベント、バックヤードガイド、キャラクターショー、歯の健康相談などを行った。	1,705 人
防 災 イ ベ ン ト in 安 佐 動 物 公 園 （国土交通省中国地方整備局、 広島県土木建設局、 広島市危機管理室、 広島市防災士ネットワーク、 広島工業大学）	28年 9月11日	9月1日の防災の日になみ、国・広島県・広島市の防災担当と連携するとともに、広島市防災ネットワークの防災士や広島工業大学の学生と協力し、入園者の防災意識を高めるためのイベントを開催した。	入園者数 2,774 人
みんなで折ろう 動 物 折 り 紙 （（社福）はぐくみの里）	28年10月 1日	広島平和記念公園へ贈られた千羽鶴を再生して作った折り紙で、サイ、ゾウなどの動物を折ることを通じて、来園者の動物への関心や平和への思いを高めた。	18 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
婚活イベントへの協力 (広島県健康福祉局)	28年10月10日	広島県が主催する婚活イベントに協力し、安佐動物公園をイベント会場とする「こいのわ動物園」を開催した。	155 人
Z O O ス ポ ！ ！ 動物園で体力測定 (（公財）広島市スポーツ協会)	28年10月15日	動物の能力に関連したゲームに参加しながら体力測定ができるイベントを開催した。	266 人
どうぶつ重さ長さクイズ (広島市計量検査所・（一社）広島県計量協会・広島市計量協会)	28年10月30日	11月1日の計量記念日にちなみ、ゾウの体重と胸囲、ヒキガエル体重、象牙の重量を入園者に予想してもらい、公開計測を行った。	予想投票数 526 票
アフリカゾウの 一 日 消 防 隊 長 (安佐北消防署)	28年11月12日	秋の全国火災予防運動に合わせて、アフリカゾウのメイが「一日消防隊長」として、他のゾウと一緒に火災予防パフォーマンスを行った。	400 人
ボランティアとの 共 同 イ ベ ン ト	28年12月 3日	ボランティアが中心となり、動物公園のヒツジの毛を使ってマスコットを作るイベント「フェルトでゆきだるま」を開催した。	100 人

(エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：169人、家族会員：47家族 176人、賛助会員：4社)

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
例 会 (第266回～第271回)	28年 4月10日	「ホノルル動物園滞在記」(講話)、園内見学	62人
	28年 6月12日	「今、アツい!飼育係が語るカエルたち」(講話)、園内見学	53人
	28年 8月 7日	「クロサイ『ハナ』だけじゃない!長寿カワウソ『ユウ』のお話」(講話)、園内見学	35人
	28年10月 9日	「カープ リーグ優勝おめでとう!安佐動物公園のキク・マルコンビ成長記録」(講話)、園内見学	42人
	28年12月11日	十大ニュース、「動物をみる 見る・観る・診る〜DNA を使うとオスカメスカが見えてくる」(西堀正英氏講演会)	(講演会参加者67人のうち) 42人
	29年 2月12日	「酉年!手羽先を食べながら翼について考えよう」(講話)、Zoo Cafe 懇談会	41人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250部
すづくりの送付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すずくり」を会員に送付した。	各回 250部
自 然 観 察 会	28年12月 4日	ヒドリガモ、カイツブリ等の鳥類、ヤナギ等の植物などの観察を行った。 場所：広島市東区大芝水門付近	15人
	29年 3月26日	ジョウビタキ、ホオジロ、カワラヒワ等の野鳥の観察を行った。 場所：安佐動物公園内	24人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	応募期間・実施日	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	28年 5月 8日	幼児、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 601 点 入選 197 点
動物作文・詩 コンクール	28年 7月 1日 ～28年 9月14日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 692 点 入選 141 点
動物画コンクール	28年 7月 1日 ～28年 9月14日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 2,840 点 入選 217 点
動物写真コンクール	28年 7月 1日 ～28年12月28日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 615 点 入選 44 点
動物たちと消防の写生大会 (安佐北区子供会連合会 ・安佐北消防署共催)	29年 3月12日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 363 点 入選 60 点

b 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ダルマガエルの 目 覚 め 観 察 会	28年 5月 2日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	44 人
モリアオガエルの 産 卵 観 察 会	28年 6月11日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	210 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	29年 3月 5日	自然に関する理解を深めるため、広島市南区元宇品で動・植物や昆虫を観察した。	28 人

c 動物教室その他催し物

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
動物愛称募集 及び命名式	通 年	繁殖により誕生した動物の愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	応募数 アミメキリン 1,813 票 (愛称アキコ) マンドリル 649 票 (愛称マリン) クロサイ 840 票 (愛称ニコ)
まいにち動物解説	通 年	園内での動物解説を毎日時間を決めて数か所で実施した。動物の生態などを分かりやすく解説し、動物への理解を深めた。	29,304 人
バックヤードガイド	通 年 (毎月最終土曜日 を除く各土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	86 回 1,890 人
サンちゃんツアー (オオサンショウウオ保護 増殖施設ガイドツアー)	通 年 (毎月最終土曜日)	毎月1回、オオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの保護活動が環境保全に繋がることを伝え、参加者の保護意識の醸成を図った。	12 回 205 人
写真どうぶつえん	28年 4月 1日 ～29年 1月31日	動物公園の動物を題材とした写真を募集し、作品を飼育舎前に掲示した。	応募 45 枚 掲示 13 枚
動物の日イベント スタンプラリー	28年 4月17日 28年 4月27日 28年 6月12日 28年 6月19日 28年 9月17日 28年 9月22日 29年 3月 3日	「飼育の日」、「世界バクの日」、「世界キリンの日」などの動物の日に関連して開催するイベントに参加し、スタンプを集めると記念品がもらえる「動物の日イベントスタンプラリー」を実施した。	958 人
動物公園春まつり	28年 4月1日 ～28年 5月5日 29年 3月12日 ～29年 3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 131,904 人
動物観察えさ やり体験デー	28年 4月2日 ～28年 4月 3日 29年 3月25日 ～29年 3月26日	キリン、ヤギ、ヒツジへのえさやり体験を通じた動物とのふれあいの場を提供した。(キリンは4月は出産のため中止)	キリン 100 人 ヤギ・ヒツジ 394 人
飼育の日イベント 「飼育係あるあるとおーっく」	28年 4月17日	4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育係が動物の飼育に関する日頃の体験などを語るトークショーを開催した。	210 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
世界バクの日 イ ベ ン ト	28年 4月27日	4月27日の「世界バクの日」に、マレーバクの解説や啓発パネルの展示を行った。	32 人
ア ニ マ ル バルーンアート	28年 4月30日 ～28年 5月 1日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、さまざまなかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	1,200 人
ヒツジの毛刈り と糸つむぎ教室	28年 5月 3日 ～28年 5月 4日	ヒツジの毛刈りの様子を一般公開するとともに、毛糸ができるまでの過程を体験できるコーナーを設けた。	糸つむぎ体験 239 人
オ リ ジ ナ ル 缶バッジ作り	29年 3月18日	動物への関心を高め、動物公園での思い出が形として残るよう、オリジナル缶バッジを作る工作教室を開催した。	250 人
カエルのための 田 ん ぼ 作 り (田 植 え 体 験)	28年 5月14日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と田植えを行った。	23 人
オウム・インコデー インコと記念撮影	28年 6月12日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説し、記念撮影コーナーやインコ相談コーナーを設置した。	91 人
解 剖 教 室 ～ 獣 医 入 門 ～	28年 6月18日	小学校4～6年生を対象に獣医師による動物の体の構造についての講義や、解凍したニワトリの解剖を行った。	16 人
世界キリンの日 イ ベ ン ト	28年 6月19日	「世界キリンの日」にちなみ、アミメキリンの解説や啓発パネルの掲示などを行った。	80 人
おめでとう長寿世界一！ ク ロ サ イ の ハ ナ	(特別公開) 28年 7月 2日 28年 7月 9日 28年 7月23日 28年 7月30日 (お祝いセレモニー) 28年 7月16日	非公開としているクロサイの雌「ハナ」が50歳となり、長寿世界記録を更新したことを記念して、安佐動物公園に来園した7月の土曜日に特別公開し、お祝いセレモニーを行った。	1,025 人
動 物 園 で 七 夕	28年 7月 2日 ～28年 7月 3日	レッサーパンダの糞を使用した動物公園特製の短冊に願いを書いて竹に取り付けた。	200 人
も う す ぐ 大 暑 動 物 へ 暑 中 お 見 舞 い	28年 7月22日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをアヌビスヒヒやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	106 人 かき氷プレゼント 79 人
動 物 公 園 で アイスクリーム作り	28年 7月24日	乳製品と家畜との関係を解説し、アイスクリームを作り試食した。	230 人
サ マ ー ス ク ー ル	28年 7月26日 28年 7月29日	小学校4～6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	33 人 26 人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
夜の動物園で 動物観察 (寄附者対象)	28年 8月 7日	みどり生きものサポーター等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を解説する観察会を行った。	31 人
神楽ステージ	28年 8月13日 28年 8月20日 28年 8月27日 28年 9月 3日	広島で盛んな伝統芸能「神楽」で、動物の登場する演目をナイト・サファリにおいて上演した。	2,600 人
開園記念日行事	28年 9月 4日	公募により決定した小学生に一日園長を委嘱し、園内巡視やえさ作り体験などを行った。	入園者数 2,440 人
動物公園秋まつり	28年 9月10日 ～28年11月27日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 131,183 人
レッサーパンダの日 動物解説	28年 9月17日	9月の第3土曜日が国際レッサーパンダデーであることにちなみ、安佐動物公園で飼育しているレッサーパンダの生態などについて飼育係が解説した。	100 人
動物たちの 長寿を祝う会	28年 9月19日	敬老の日に、長寿の動物(クロサイ)に果物などを与え、入園者とともに祝った。	150 人
世界サイの日 クロサイのことを知ろう	28年 9月22日	世界サイの日にちなみ、クロサイの生態や野生の現状について、クイズを交え、解説を行った。	270 人
リユースフリーマーケット	28年 9月24日 ～28年 9月25日	ごみを出さない循環型社会を目指した取組の一つとして、家庭不用品のリユースを促進するためのフリーマーケットを開催した。	出店 83 組
Zoo cafe 飼育係と動物トーク	28年10月 2日 28年10月 9日 28年10月16日 28年10月23日	10月の毎週日曜日に飼育係が入園者と対話しながら動物の不思議や飼育のこぼれ話などをするサイエンスカフェを開催した。	460 人
ふりふりバター作り	28年10月 8日	生クリームとペットボトルを使って簡単にバターを作る方法を指導し試食するとともに、家畜と人との関わりについて解説した。	100 人
ハロウィン動物園	28年10月29日	ハロウィンにちなんだフェイスペイントをした入園者を誘客した。	入園者数 1,944 人
動物観察エサやり 体験デー	28年11月 6日 28年11月13日 28年11月20日 28年11月27日	11月の毎週日曜日に、入園者がキリン、ヤギへのエサやりを体験し、食べ方などを間近で観察できる体験デーを実施した。	277 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
動物園で いも掘り	28年11月19日	園内の動物の餌とするイモ畑で入園者 とともにサツマイモを収穫した。	50 人
働く動物に 感謝の日	28年11月23日	勤労感謝の日に、安佐動物公園一の働 き者、ポニーの5頭を表彰してニンジ ンをプレゼントし、記念撮影を行っ た。	224 人
動物園 de ピクニック婚活	28年11月26日	独身の男女を対象に、園内ツアーやバー ベキューなど、動物園ならではの出会い の場を提供し婚活を支援した。	42 人
カープクライマックスシリーズ 応援企画 レッサーパンダ の特別解説	28年10月10日	広島東洋カープの25年ぶりのリ ーグ優勝を記念し、日本シリーズ進 出を願うクライマックスシリーズ の応援企画として、カープに在籍す る選手にあやかり命名したレッサ ーパンダの「キク」と「マル」の解 説を実施した。	250 人
重慶市との友好都市 提携30周年記念 イ ベ ン ト	28年10月15日 ～28年10月30日	重慶市との友好都市提携30周年 を記念し、同市との動物交流につい て紹介するパネルを設置するとと もに、10月23日に開催した「Z o o c a f e」において、同市との 交流動物にスポットを当てた話題 を提供した。	入園者数 29,650 人
クロサイのハナに 会いに行こう	28年10月29日 ～29年 3月31日 (毎月最終土曜日)	通常は非公開で飼育している長寿 世界一のクロサイ「ハナ」のガイド ツアーを毎月1回実施した。	6 回 120 人
大人のための 飼育体験教室	28年11月 5日	野生動物への関心を深めるため、飼 育実習と講義等を行った。	20 人
動物公園冬まつり	28年12月 3日 ～29年2月26日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し 物を実施し、動物に関する知識の普及と 入園者の増加を図った。	入園者数 56,902 人
鳥と記念撮影	28年12月 2日 ～28年12月28日	平成29年の干支「酉」の顔出し看板を 園内に設置して記念撮影の場を提供し た。	入園者数 17,984 人
動物講演会	28年12月11日	「動物をみる 見る、観る、診る～DNA を 使うとオスなのか、メスなのかが見えて くる～」と題し、市民を対象にした講演 会を開催した。	67 人
動物脱出対策 公開訓練	28年12月17日	ライオンが脱出したという想定で動 物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 845 人
クリスマス動物 キャンドル作り	28年12月18日	クリスマスにちなみ、動物型のキャンド ルを作るイベントを開催した。	100 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
元 気 に 冬 越 し 冬 至 は か ぼ ち ゃ	28年12月21日	冬至に、ゾウやアヌビスヒなどにかぼ ちやを与え、動物たちの健康を願った。	132 人
ク リ ス マ ス カ ー プ 選 手 と サイタクロースが プ レ ゼ ン ト	28年12月25日	飼育係が扮したクロサイのサンタクロ ースが、動物にはエサ、入園者にはお菓子な どをプレゼントした。また、広島東洋カー プの白濱選手を招聘し抽選で入園者に賞 品をプレゼントした。	645 人
元 日 イ ベ ン ト 申 から 酉 へ の 干 支 の 引 継 ぎ 式	29年 1月 1日	新年を迎えるイベントとして、元日に 「申」から「酉」への干支の引継ぎを行 った。	200 人
新 春 子 ど も も ち つ き 体 験	29年 1月 2日 29年 1月 3日	新春を祝う行事として、子どもたちに よるもちつき体験を行った。	195 人
新 春 動 物 か る た で 遊 ぼ う よ	29年 1月 8日 29年 1月29日	安佐動物公園の展示動物の特徴を紹 介したオリジナル動物かるたを使っ たかるた取りを開催した。	1月 8日 7 人 1月29日 54 人
オ リ ジ ナ ル 缶 バ ッ ジ 作 り	29年 1月 9日	動物への関心を高め、動物公園での思 い出が形として残るよう、オリジナル 缶バッジを作る工作教室を開催した。	250 人
落 ち 葉 で や き い も 作 り	29年 1月22日	冬の風物「やきいも」作りを体験しな がら、動物たちの冬の過ごし方につい て解説した。	72 人
動物公園で雪遊び	29年 1月21日～ 29年 1月29日	冬の動物公園のにぎわい作りのため、 雪の滑り台を作った。	入園者数 4,006 人
ま ん が 動 物 園 & 動 物 ま ん が ク イ ズ ラ リ ー	(漫画展示) 29年 2月 1日 ～29年 2月26日 (クイズラリー) 29年 2月 5日 29年 2月12日 29年 2月19日 29年 2月26日	飼育係が描いたまんが解説パネルを 展示し、そのまんがを題材にしたクイ ズラリーを行った。	2,546 人
世界野生生物の日 イ ベ ン ト	29年 3月 3日	世界野生生物の日に、その制定由来と なる「ワシントン条約」と深く関係す るアフリカゾウについて特別解説を 実施した。	60 人
親 子 動 物 教 室	29年 3月19日	親子を対象に、小動物の観察や骨格標 本の解説など、動物について学ぶ場を 提供した。	14 組 28 人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やヤギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	108 件 3,037 人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の「総合的な学習の時間」において、動物公園の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1 件 6 人
進路総合学習の受入れ	通 年	学校等の総合学習において、動物公園の職場見学を希望する生徒を受け入れた。	1 件 85 人
自然体験活動の受入れ	通 年	動物の観察や動物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	51 件 3,870 人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称		実施期間	内 容
動物たちと消防の写生大会 入 賞 作 品 展		28年 4月9日 ～28年 4月17日	「動物たちと消防の写生大会」の入賞作品を展示した。
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展		28年 4月24日 ～28年 5月22日	「動物写真コンクール」の入賞作品を展示した。
子 ど も 写 生 大 会 入 賞 作 品 展		28年 6月11日 ～28年 7月 3日	中国新聞社と共催で行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示した。
企画展示 「身近な野生動物」		28年 7月30日 ～28年10月23日	カブトムシ、カエルなど身近な野生動物の飼育と観察について展示した。
動物画コンクール 入 賞 作 品 展		28年11月 3日 ～28年11月27日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示した。
干 支 展 「飛ばない鳥たちー Flightless Birds」		28年12月12日 ～29年 1月9日	平成29年の干支が酉であることにちなみ、安佐動物公園にいるダチョウやペンギン、ニワトリなどについて、パネルやクイズで紹介した。
市 民 公 募 展	「広島市立大学 芸術学部絵画展」	29年 1月21日 ～29年 2月19日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景の作品展を開催した。
	「高校生兄弟による創作折り紙切り紙展」	29年 3月 4日 ～29年 3月26日	安佐動物公園で展示している動物をテーマにした、創作折り紙切り紙展を開催した。

(ク) 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 105 件 取材件数 349 件 《取材件数の内訳》 テレビ 146 件 ラジオ 80 件 新聞 98 件 その他 25 件
近隣県市町訪問広報	通 年	浜田市に職員を派遣し、浜田市長等に動物公園のイベントや教育活動等をPRした。	1 か所
動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及	通 年	動物レクチャーや体験型環境学習プログラムを学校などに配布し、利用を呼びかけた。	204 か所
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物公園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	10 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	市内郵便局ネットワークを利用して、動物公園のPR用チラシを公共施設や観光事業所に配布した。	1, 339 か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	15 か所 写真パネル 300 点 まんが 12 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	Eメールによる問合せ等 236 件
ツイッターによる広報	通 年	情報共有力・拡散力の高いツイッターにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	899 件
動物解説広場の実施	通 年	みなとフェスタなど地域イベント会場において、動物や骨格標本の展示、動物に関するレクチャーなどを行い、動物公園をPRした。	2 件
マスコットキャラクターを利用したPRの実施	通 年	オオサンショウウオのキャラクターの着ぐるみ「サンちゃん」等を積極的に園内外のイベントに参加させ、動物公園のPRを行った。	9 件
保育園・幼稚園・小学校へのPR	通 年	市園長会、市小学校校長会等でPR活動を行い、遠足の誘致を図った。	7 件

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
近 隣 団 地 へ の P R	通 年	リピートが期待できるあさひが丘団地の連合自治会に巡回バス運行のお知らせやチラシを配布し、入園者の増加を図った。	2 件
有料の広告媒体 による 広 報	通 年	イベントチラシの新聞折込、FMラジオなど有料の広告媒体を利用して集客を図った。	4 件
公 共 交 通 機 関 利用者への P R	通 年	J R 可部線の可部駅及び大町駅に「夜間開園（ナイトサファリ）」のポスターを掲示し、集客を図った。	2 件

(ケ) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「す づ く り」 「飼 育 記 録 集」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。	4回 計3,400部 220部

(コ) 動物に関する相談

名 称	実施期間	件 数
動 物 相 談	通 年	飼育相談 32 件 野生動物の救護 26 件 引取依頼 62 件 有害鳥獣の駆除対策 20 件 その他一般相談 166 件 計 306 件

③ 植物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(ア) 植物の栽培・展示

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類や多肉植物約250品種、850株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ること、生き物に対する興味の高揚を図った。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	1年を通じ多彩で美しい花を咲かせる約50品種100株の熱帯スイレンを植栽し、エキゾチックな憩いの空間を提供した。また、巨大な葉を持つオオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行うほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設け、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。
〔ベゴニア温室〕 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、650品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供した。
〔フクシア温室〕 フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花を咲かせるフクシア約100品種160鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できるようにした。
〔カスケード〕 インパチエンス、パンジーなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。また、巨大ハンギングバスケットを季節やイベントに合わせて草花やクラフトなどで飾った。

〔展示場所〕 主な展示植物	内 容
〔展示温室〕 ゼラニウムなど	世界のラン、ゼラニウム、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなど植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテン、オモトなど、季節にふさわしい植物を年間19回展示した。
〔芝生広場〕 サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、アンズなどの花木類を植栽・展示し、早春から春のベストシーズンにかけて見ごろとなるゾーンとした。
〔花の進化園〕 スイレン科、ユリ科、キク科、ラン科など	種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示することにより、入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深める場とした。また、被子植物の新しい分類体系として最近主流になりつつあるAPG分類体系へ順次移行を図った。(APGとは、Angiosperm Phylogeny Group(被子植物系統グループ)の略で葉緑体DNAの解析から、植物の類縁関係を決定し分類したものである。)
〔屋外展示場〕 クレマチス、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、サクラソウ、アジサイ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示した。
〔ロックガーデンと うらら池散歩道、 里山の野草園〕 エーデルワイス、ナミキソウ、 ヒゴタイ、ヤチシャジンなど	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿い及び里山の野草園には主に広島県内の林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示した。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介することで、植物の自生状態や自然保護への関心を促した。
〔バラ園〕 バ ラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。バラ園を拡充し、オールドローズの植栽を増やした。
〔ツバキ園〕 ツ バ キ な ど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。
〔日本庭園〕 ウメ、ハナショウブ、 ア ジ サ イ な ど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、コケの見本園など和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気にくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。拡充したハナショウブ園では、江戸期に育成された古花を中心に、これまでの1.5倍の1,000株を展示した。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を充実させた。
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。

主な展示植物 〔展示場所〕	内 容
〔こども花壇〕 パンジーなど	春にパンジー、夏にキバナコスモス、秋にコスモスの迷路を作り、子どもが楽しめる場を提供した。
〔展示資料館壁面・ 通路スペースなど〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ダリアなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。
〔大温室〕 ヤシ、ラン、熱帯果樹など	改修のため、平成29年秋までの予定で閉鎖している。

【植物の栽培展示数】

(平成29年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室 (※)	620 品種	10,960 本
サ ボ テ ン 温 室	250 品種	850 本
熱 帯 ス イ レ ン 温 室	150 品種	600 本
ベ ゴ ニ ア 温 室	650 品種	2,000 本
フ ク シ ア 温 室	140 品種	230 本
栽 培 温 室	3,910 品種	32,520 本
バ ラ 園	700 品種	1,000 本
ツ バ キ 園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,380 品種	154,240 本
合 計	10,000 品種	203,000 本

※ 「大温室」は、改修工事のため平成28年2月1日から閉鎖しており、同欄の種類及び本数は閉鎖前の栽培展示数である。

(イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展 示 ・ 保 存 植 物 の 維 持 ・ 充 実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け : 18か国 44か所 191種 譲渡し : 20か国 50か所 104種

名 称	内 容
種 苗 の 導 入	キソウテンガイ、ゴウシュウヘゴ、ドラクラなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植 物 の 栽 培 管 理	生育状態を良好に保ち、病虫害被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料		
有 料 入 園 者	個 人		大人	18 歳以上 65 歳未満	5 1 0 円	46,063 人	23,492,130 円	
				65 歳以上	1 7 0 円	14,840 人	2,522,800 円	
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	1 7 0 円	526 人	89,420 円	
	年 間 パ ス ポ ー ト	購 入	大人	18 歳以上 65 歳未満	1, 5 4 0 円	2,389 人	3,679,060 円	
				65 歳以上	5 1 0 円	1,505 人	767,550 円	
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	5 1 0 円	10 人	5,100 円	
		提 示	大人	18 歳以上 65 歳未満	—	15,685 人	— 円	
				65 歳以上	—	8,127 人	— 円	
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	—	18 人	— 円	
		団 体		大人	18 歳以上 65 歳未満	4 3 0 円	1,888 人	811,840 円
					65 歳以上	1 3 0 円	841 人	109,330 円
				小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	1 3 0 円	70 人	9,100 円
	優 待 割 引		大人	18 歳以上 65 歳未満	4 3 0 円	18 人	7,740 円	
				65 歳以上	1 3 0 円	2 人	260 円	
			小人	18 歳未満(小・中学生を除く)	1 3 0 円	0 人	0 円	
小 計					91,982 人	31,494,330 円		
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）					95,010 人	0 円		
合 計					186,992 人	31,494,330 円		

(エ) 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	販売枚数 3,904 枚
電動カートの運行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを巡回し、入園者サービスの向上を図った。	10,885 人
さくらまつり	28年 4月2日 ～28年 4月30日 (土・日・祝日)	桜の見頃の時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	19,566 人
夜 間 開 園	28年 4月 2日 28年 4月 3日 28年 4月 9日 28年 4月10日 28年 9月10日 28年 9月11日 28年 9月17日 28年 9月18日 28年 9月24日 28年 9月25日 28年11月26日 28年11月27日 28年12月 3日 28年12月 4日 28年12月10日 28年12月11日 28年12月17日 28年12月18日 28年12月23日 28年12月24日 28年12月25日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 3,042 人 111 人 1,035 人 509 人 2,938 人 1,310 人 1,192 人 532 人 3,455 人 480 人 1,390 人 547 人 3,622 人 272 人 2,880 人 1,897 人 3,141 人 2,034 人 2,687 人 2,357 人 2,965 人 合計 38,396 人
休 園 日 の 開 園	28年 4月15日 28年 4月28日 28年10月 7日 28年12月22日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウィーク及び秋のグリーンフェア期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	256 人 604 人 228 人 34 人 合計 1,122 人
みどりの日・植物園の日 記 念 行 事	28年 5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	4,739 人

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数
区民ウォーキング in 植物公園 (佐伯区役所共同事業)	28年 5月28日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るため、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	289 人
サマーフェア	28年 7月16日 ～28年 8月31日	夏休み期間中を中心に、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	34,160 人
秋のグリーンフェア 会場としての利用	28年10月 1日 ～28年10月10日	秋のグリーンフェアの会場として期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入(駐車料など)の増加を図った。	12,086 人
開園記念日 記念行事	28年11月 3日	開園40周年を記念し、ピアノのプレゼントや巨大壁面花壇のお披露目式、コンサート、園内ガイドなど様々なイベントを実施した。	4,702 人
バレンタイン フェスティバル	29年 2月11日 ～29年 2月14日	コンサート、マーチングバンドの演奏やチョコ作り実演会、バラの花束を持った記念撮影コーナーなど様々なイベントを実施した。	1,555 人

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	内 容
施設の維持管理	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利用案内	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる 情報提供	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。
樹木ラベル の充実	樹木ラベルの追加・更新、雌雄の表示を行った。
大型模型の設置	広島市が寄贈を受けた、ハエトリグサ、ウツボカヅラなどの大型模型を温室内や温室前に設置し、来園者に見て触れて楽しめる撮影スポットを提供した。

(カ) 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	広島市から委託を受け、栽培温室空冷チラーの定期点検を行った。

(キ) 施設の機能充実

名 称	実施期間	内 容
みどり生きものサポーター・植物公園募金等による施設の機能の充実	通 年	ゆっくりとした時間の中で植物を観察し学習できる場を入園者に提供するため、寄附金等を活用し、全ての世代が植物観賞の合間も楽しく過ごせる環境づくりとして、子ども向け遊具を設置した。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
都市における自然環境保全活動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会への参加により、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件
希少植物の保護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	1 件

(イ) 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	5 件

(ウ) 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	種 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	様々な野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	日本産 約120種 ワシントン条約 75種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランなどの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、「植物多様性保全2020年目標」達成に貢献した。	66種 約400系統 検討会 2件

(エ) 植物に関する調査・研究

名 称	実施期間(日)	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに、保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
新品種の保護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。
各種資料の収集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植物標本の活用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	29年 2月 8日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「南アフリカ原産の球根植物〈ラケナリア〉の類縁関係を探る」と題して発表した。 (参加者 65人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	実施期間（日）	内 容	件 数 等
講習会・研修会 などの開催及び 講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、随時、植物公園 で講習会・研修会などを開催するととも に、職員を講師として派遣した。	12 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学 芸員実習）などを行った。	6 件 10 人
森の幼稚園を活用 した保育者指導	28年 5月29日 28年10月 9日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対 象とした自然体験プログラムの指導を 行った。	32 人 30 人

(イ) 市民・団体との協働

名 称	実施期間	内 容	活動者数等
植 物 解 説 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティ アを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：59人	活動延べ人数 1,360 人
植 物 管 理 ボ ラ ン テ ィ ア	通 年	園内で植物管理に当たるボランティア を育成し、活動内容の充実を図った。 管理ボランティア登録人数：20人	活動延べ人数 361 人
地 域 団 体 な ど と の 協 働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜 樹育成指導や文化活動などにより、地域 の活性化を図った。また、(公社)日本 植物園協会植物研究会の開催や、展示協 力などを行った。	26 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 1 件 造幣局今年の花選定 1 件 佐伯区百人委員会花部会 12 件 さえきフラワープロジェクト 8 件 広島県ラン展 3 件 沖縄国際洋蘭博覧会 1 件
グリーン・レガシー・ ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付 する活動に対し、種子の保存や送付の 協力を行った。また、被爆樹木のラベル 取付作業に協力した。	21 件

名 称	実施期間（日）	内 容	件 数 等
花 と 緑 の 広 島 づ く り の 推 進	通 年	緑化推進部・区役所・地域団体と連携して、 地域の花壇作り等の活動を行うグループ への講習を実施し、リーダー育成につな げた。	1 件

【愛好者団体による展示会】

名 称	実施期間	内 容
おし花美術作品展	28年 4月 2日 ～28年 5月11日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示した。
エ ビ ネ 展	28年 4月23日 ～28年 4月28日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示した。
春 の 山 野 草 展	28年 4月23日 ～28年 4月28日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ク レ マ チ ス 展	28年 4月30日 ～28年 5月 8日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が 美しいクレマチスの仲間を展示した。
セッコク・長生蘭展	28年 5月 7日 ～28年 5月12日	日本の野生ランであるセッコクとその中で斑入りなどの特徴を持 ち長生蘭と呼ばれる品種を展示した。
趣 味 の ボ タ ニ カ ル ア ー ト 展	28年 5月14日 ～28年 6月 9日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
遅咲きクレマチス展	28年 5月28日 ～28年 5月31日	小型で可愛いヴィチセラ系や遅咲き大輪系を中心にクレマチ スの仲間を展示した。
初夏の小品盆栽展	28年 6月11日 ～28年 6月16日	フウチソウやツツジなど、初夏に見頃の植物を小鉢仕立てで展示 した。
ウ チ ョ ウ ラ ン 展	28年 6月11日 ～28年 6月16日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを 岩付けや大鉢作りで展示した。
私 の 好 き な 花 ち ゃ ん の 写 真 展	28年 6月18日 ～28年 7月28日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
ボ タ ニ カ ル ア ー ト 教 室 作 品 展	28年 7月30日 ～28年 9月 1日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
季節の花さんぽ展	28年 9月 3日 ～28年 9月15日	ガイドボランティアが園内を案内する「季節の花さんぽ」の光景や 活動実績を写真やパネルなどで展示した。

名 称	実施期間	内 容
秋 の 山 野 草 展	28年 9月17日 ～28年 9月22日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
植物友の会作品展	28年 9月17日 ～28年 9月25日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品、クラフトなどを展示した。
ガーデニング コンテスト作品展	28年10月 1日 ～28年10月10日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
サ ボ テ ン 展	28年10月 1日 ～28年10月13日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
ハ ン ギ ン グ バ ス ケ ッ ト 展	28年10月 5日 ～28年10月10日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
野 生 き の こ 展	28年10月15日 ～28年10月16日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
寒 蘭 展	28年11月12日 ～28年11月17日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	29年 1月 4日 ～29年 1月 9日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
盆 栽 展	29年 1月14日 ～29年 1月19日	直幹、模様木、文人作りなど様々な樹形が楽しめる盆栽を展示した。
植 物 写 真 コンテスト作品展	29年 1月21日 ～29年 2月 9日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。
植 物 日 本 画 展	29年 2月11日 ～29年 3月 2日	四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示し、作品などについて解説した。
おもと(万年青) 名 品 展	29年 2月15日 ～29年 2月20日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示した。
フラワーデザイン展	29年 3月 4日 ～29年 3月 9日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。
クリスマスローズ展	29年 2月25日 ～29年 3月 5日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。
「草木染の世界」展	29年 3月11日 ～29年 3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

(ウ) 植物友の会の活動

会員内訳

(個人会員：107人、家族会員：15家族38人、賛助会員：8社)

名 称	実施日(回数)	内 容	参加者数等
例 会	28年 5月 8日	園内植物観察	39人
	28年 7月10日	「春の野外観察会～神庭の滝～報告」、 夏の園芸作業、園内植物観察	33人
	28年 9月25日	秋の園芸作業、園内植物観察	26人
	28年11月13日	冬の園芸作業、園内植物観察	27人
	29年 1月 8日	「宮島植物探訪会友の会オリジナルコース」、園内植物観察	24人
	29年 3月12日	総会、春の園芸作業、園内植物観察	34人
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の 出来事などを載せた会誌「はなの輪」を 発行した。	夏号 300冊 秋号 300冊 冬号 300冊 春号 300冊
野 外 観 察 会	28年 5月29日	神庭の滝周辺の植物観察を行った。 場所：岡山県真庭市（神庭の滝） 講師：山口 富美夫氏	22人
	28年11月17日	宮島の自生植物などの観察を行った。 場所：広島県廿日市市宮島町 講師：坪田 博美氏	19人
講 習 会	28年 8月23日	アナベルのドライフラワーボール作り を行った。	12人
	28年11月22日	竹製コンテナの寄せ植えを行った。	8人

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	28年 4月26日	ミニバラを使ったモダンな寄せ植え	20 人
	28年11月12日	クリスマスリース作り	20 人
バラの年間管理講座	28年 6月 7日	花後の手入れ	21 人
	28年 8月24日	秋せん定	17 人
	28年12月 6日	冬の管理	16 人
植物学入門講座	28年 6月 8日	ルーペで見るミクロの世界 葉の緑・毛・腺	23 人
	28年 6月15日	ルーペで見るミクロの世界 根・茎・葉の変形	19 人
	28年 6月22日	ルーペで見るミクロの世界 花とコケ	15 人
暮らしに役立つ ハーブ講座	28年 7月 9日	薬用ハーブの利用法	12 人
	28年 7月16日	ハーブの香りの役立て法	10 人
	28年 7月23日	ハーブの減塩料理への利用	12 人
植物バイオテクノロジー入門	28年 7月26日	バイオテクノロジーの基本 DNAの抽出実験	9 人
	28年 8月 2日	遺伝子組み換え植物について 検出実験	10 人
	28年 8月 9日	身近なバイオテクノロジー技術	9 人

b 講習会・実演会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	28年 4月16日	初心者向けにサクラの写真の撮り方について指導した。	32 人
緑のカーテン講習会	28年 4月23日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカーテン作りについて指導した。	2 人
春の山野草実演会	28年 4月24日	春の山野草の栽培方法について実演指導した。	30 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
エビネ実演会	28年 4月24日	エビネの育て方について実演指導した。	40 人
クレマチス実演会	28年 5月 3日	クレマチスの育て方について実演指導した。	20 人
セッコク実演会	28年 5月 8日	日本の野生ランであるセッコクの育て方について実演指導した。	15 人
ボタニカルアート 色 付 け 講 習 会	28年 5月15日	ボタニカルアート(植物細密画)の色付けについて指導した。	17 人
バ ラ 講 習 会	28年 5月21日	一般家庭に普及しているバラ全般の栽培方法について、詳しく指導した。	95 人
ハーブ実演会	28年 5月22日	家庭で育てたハーブの上手な乾燥法、保存法について実演指導した。	20 人
ハナショウブ実演会	28年 6月 4日 28年 6月12日	ハナショウブの育て方について実演指導した。	14 人 9 人
アジサイ実演会	28年 6月 5日 28年 6月11日	アジサイの育て方について実演指導した。	26 人 21 人
小品盆栽実演会	28年 6月12日 29年 1月 8日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	8 人 12 人
植物写真撮影講習会	28年 6月26日 28年10月 5日	植物の写真の撮り方について指導した。	28 人 7 人
食虫植物実演会	28年 7月24日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	100 人
ボタニカルアート 講 習 会	28年 8月21日	ボタニカルアート(植物細密画)の描き方について指導した。	9 人
NHK趣味の園芸 i n 植 物 公 園	28年 8月28日	NHK「趣味の園芸」と協力してコスモスの育て方について実演指導した。	100 人
秋の山野草実演会	28年 9月18日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	10 人
ガーデニング 実 演 会 と 解 説	28年10月 2日	コンテストの解説に併せてハンギングバスケットやコンテナガーデン(花の寄せ植え)などの作り方について実演指導した。	30 人
寒 蘭 実 演 会	28年11月13日	寒蘭の育て方について実演指導した。	9 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
クリスマスリース 作 り 講 習 会	28年11月27日	クリスマスリースの作り方について指導した。	3 人
カカオニブ磨砕 実 演 会	29年 2月12日	専用石うすによるチョコの製造を実演指導した。	243 人
植物スケッチ講習会	29年 2月19日	植物のスケッチの仕方について指導した。	33 人
おもと(万年青) 実 演 会	29年 2月19日	万年青の栽培管理について実演指導した。	15 人
クリスマスローズ 実 演 会	29年 2月25日 29年 2月26日 29年 3月 4日 29年 3月 5日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	39 人 26 人 40 人 42 人
フラワーデザイン 実 演 会	29年 3月 5日	簡単なフラワーアレンジの方法について実演指導した。	34 人
洋 ラ ン 講 習 会	29年 3月 5日	洋ランの魅力や種類、栽培方法などについて指導した。	10 人
草 木 染 講 習 会	29年 3月19日	草木染の方法について指導した。	19 人
椎茸栽培講習会	29年 3月20日	椎茸の植菌とその後の管理方法について指導した。	63 人

c 講演会・展示解説

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
変化朝顔展解説	28年 9月 4日	変化朝顔展の展示と変化アサガオの育て方について解説した。	12 人
サボテン展解説	28年10月 2日	サボテン展の展示とサボテンの育て方について解説した。	20 人
宮島の植物講演会	28年10月23日 28年12月 4日	宮島の植物に詳しい大学教授等を講師に迎えて、宮島の植物の状況と将来の方向について講演を行った。	50 人 32 人
植 物 日 本 画 展 ギャラリートーク	29年 2月19日	植物日本画展の作品などについて解説した。	13 人
早春の洋ラン展解説	29年 2月26日	早春の洋ラン展の展示とパフィオペディウム自生地環境などについて解説した。	12 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	29年 3月19日	「草木染の世界」展の作品などについて 解説した。	15 人

d コンクール

名 称	実施期間(日)	内 容	応募点数等
ラ ン 審 査 会	28年 4月30日 28年10月22日 29年 2月25日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン 展览展示協力団体から出品されたランを 審査し、優秀作品を表彰した。	25 人 134 点 25 人 108 点 29 人 150 点
ガ ー デ ニ ン グ コ ン テ ス ト	28年 8月 1日 ~28年 9月12日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)と ハンギングバスケットを一般公募し、 優秀作品を表彰した。	応募 48 点 入選 25 点
植物写真コンテスト	28年 9月 1日 ~28年11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした 写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 377 点 入選 63 点

e 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	28年 4月12日 28年 4月23日	アカボシシャクナゲやフジなどの観察 を行った。	28 人 30 人
	28年 5月10日 28年 5月28日	バラやトウオガタマなどの観察を 行った。	9 人 21 人
	28年 6月14日 28年 6月25日	ヤマアジサイやハナショウブなどの観 察を行った。	20 人 14 人
	28年 7月12日 28年 7月23日	マツムシソウやノリウツギなどの観察 を行った。	21 人 16 人
	28年 8月 9日 28年 8月27日	ヤマモガシやカリガネソウなどの観察 を行った。	16 人 19 人
	28年 9月13日 28年 9月24日	オオモクゲンジやホトトギスなどの 観察を行った。	22 人 24 人
	28年10月11日 28年10月22日	ホトトギスやバラなどの観察を行った。	22 人 20 人
	28年11月 8日 28年11月26日	ユダチダリアや紅葉などの観察を行っ た。	18 人 30 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	28年12月13日	カエデやサザンカなどの観察を行った。	16 人
	29年 1月10日 29年 1月28日	ソシンロウバイやシナマンサクなどの観察を行った。	21 人 25 人
	29年 2月14日 29年 2月25日	マンサクやセツブンソウなどの観察を行った。	15 人 33 人
	29年 3月14日 29年 3月25日	梅やカタクリなどの観察を行った。	21 人 28 人
うらら池の自然散策	28年 4月30日 28年 7月 9日 28年 8月 6日 28年11月12日	うらら池やロックガーデンの野生植物を散策しながら観察した。	20 人 12 人 10 人 6 人
きのこ観察会	28年10月16日	園内に自生するキノコを散策しながら観察した。	32 人
宮島の植物探訪会	28年11月19日	宮島の植物に詳しい大学教授等の案内で宮島の植物を観察した。	29 人
野鳥観察会	29年 1月 9日	園内に飛来する野鳥を観察した。	16 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	29年 3月 5日	自然に関する理解を深めるため、広島市南区元宇品で動・植物や昆虫を観察した。	28 人

f 植物教室その他催し物

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	28年 4月10日 28年 5月 8日 28年 6月12日 28年 7月10日 28年 8月14日 28年 9月11日 28年10月 9日 28年11月13日 28年12月11日 29年 1月 8日 29年 2月12日 29年 3月12日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	26 人 72 人 21 人 35 人 43 人 37 人 61 人 42 人 24 人 13 人 53 人 39 人 合計 466 人
オリエンテーリング	28年 5月 4日 28年 7月16日 ~28年 8月31日 28年11月 3日	みどりの日、サマーフェア、開園記念日にオリエンテーリングを開催し、参加者に記念品を進呈した。	500 人 2,998 人 800 人
森 の 幼 稚 園	28年 5月29日 28年10月 9日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供するとともに、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	14 組 32 人 12 組 30 人
ハナショウブ & アジサイまつり	28年 6月 4日 ~28年 6月26日 (土・日のみ開催)	ハナショウブやアジサイの見頃の時期に合わせ、栽培講習会、お茶会、花の解説などを行った。	5,048 人
親子植物体験教室	28年 7月27日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて植物について楽しく学べる教室を実施した。	12 組 26 人
オオオニバス 試乗体験会	28年 8月17日 28年 8月20日 28年 8月21日 28年 8月23日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。(23日は申込制)	425 人 419 人 434 人 278 人 合計 1,556 人

(オ) 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習 の 受 入 れ	通 年	小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて指導した。	25 件 1,306 人
職場体験など の 受 入 れ	通 年	中学校の職場体験や高等学校のインターンシップを受け入れ、指導した。	7 件 28 人

(カ) 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
サクラソウ展	28年 4月16日 ～28年 4月21日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	28年 4月30日 ～28年 5月 5日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ハーブ展	28年 5月14日 ～28年 5月26日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ローズ フェスティバル	28年 5月14日 ～28年 5月29日	春バラの展示を中心に、バラに関する講習会やガイドツアー、バラの苗木の販売などを行った。
セントポーリアと イワタバコの仲間展	28年 5月28日 ～28年 6月 9日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
アジサイ展	28年 6月 4日 ～28年 6月26日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種などを展示した。
夏のカラフル リーフ展	28年 6月22日 ～28年 7月18日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
ノリウツギと 夏の植物展	28年 7月16日 ～28年 8月31日	ノリウツギや遅咲きのアジサイを展示し、夏に見頃となる植物を展示した。
世界の食虫植物展	28年 7月23日 ～28年 8月28日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
変化朝顔展	28年 9月 3日 ～28年 9月11日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。
薬用植物展	28年 9月17日 ～28年 9月29日	ウコンやキキョウなどの薬用植物を展示した。

名 称	実施期間	内 容
特 別 企 画 展 宮 島 の 植 物	28年10月 1日 ～28年12月23日	宮島の植物について、パネルや映像で紹介した。
秋 の 洋 ラ ン 展	28年10月22日 ～28年11月 3日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
重 慶 と 広 島 菊 花 の 造 形 展	28年10月29日 ～28年11月13日	両市の友好都市提携 30 周年を記念し、日本と中国の交流の証である中国の菊花で重慶の山々を表現するなど造形的に展示した。
ク リ ス マ ス を 飾 る フ ラ ワ ー 展	28年11月19日 ～28年12月25日	シクラメンやポインセチア、カランコエなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
カ ラ ン コ エ と 冬 の 鉢 花 展	29年 1月14日 ～29年2月12日	カランコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
早春の洋ラン展	29年 2月25日 ～29年 3月 5日	早春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
ゼ ラ ニ ウ ム 展	29年 3月11日 ～29年 3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニウムなどを展示した。

(キ) 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マ ス コ ミ 広 報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報を行った。	テレビ 44 件 ラジオ 14 件 新聞 34 件 情報誌等 206 件 計 298 件
催し物案内ポスター・ P R 用 チ ラ シ の 配 布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 645 か所 チ ラ シ 1,938 か所
植物写真パネル な だ の 貸 出 し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	3 か所 66 点
ホ ー ム ペ ー ジ に よ る 広 報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 115,046 件

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
メールマガジンの配信	通 年	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録 710 人 ミニまぐ登録 60 人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場などに設置されたディスプレイを利用して、イベントのPRを図った。	6 回
アストラムライン駅での電照広告	通 年	アストラムライン県庁前駅に電照広告を行い、植物公園のPRを図った。	1 か所
有料の広告媒体による広報	通 年	西広島タイムスに広告を行い、植物公園のPRを図った。	1 か所
マツダスタジアムにおけるPR活動	28年 7月23日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、食虫植物の解説などを行い、植物公園のPRを行った。	1 回

(ク) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「紀 要」 「栽培記録」 「種子目録」 「年 報」	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物公園事業の周知を図った。	200 部 300 部 50 部 70 部

(ケ) 植物に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	2,550 件

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成26年4月1日～平成30年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや観察会その他催し物の開催など各種事業を実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
〔パピヨンドーム〕 チョウ類		亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、クロテンシロチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。
〔パピヨンドーム〕 ホウジャク類、ハナアブ類 イトトンボ類		オオスカシバなどのホウジャク類約50頭、ヒラタアブなどのハナアブ類約250頭、キイトンボなどのイトトンボ類約90頭を放し、展示を行った。
〔昆虫ランド〕 外国産昆虫		ヘラクレスオオカブトムシ、ハナビラカマキリ、オオテナガカナブンなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。
陸 生 昆 虫	〔昆虫ランド〕 夜行性昆虫	オオクワガタ、カブトムシ、タイワンクツワムシ、オオゴキブリなど夜に活動する昆虫を、照明を昼夜反転させて展示した。入館者がスイッチを押すことでスポット照明が点灯して、野外で懐中電灯を照らしながら昆虫を観察する状況を再現した。鳴く虫については、小型マイクとスピーカーを使い、鳴く姿と鳴き声を同時に観察できるよう展示した。
	〔昆虫ランド〕 昼行性昆虫	クロカタゾウムシ、ナナホシキンカメムシ、タイワンツチイナゴなど昼に活動する昆虫を展示した。
	〔昆虫ランド〕 季節の昆虫	ハンミョウ、オンブバッタ、ヒナカマキリなど広島県に分布し、季節の移り変わりを特に感じさせる昆虫を展示した。
〔昆虫ランド〕 水生昆虫		ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境に住むその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類、プラナリア類）とともに展示した。ゲンゴロウ類については1日2回の餌やりショーも実施した。
〔昆虫ランド〕 職員おすすめ！旬の昆虫		ツチハンミョウ、ウラギンシジミの幼虫など、飼育技術が確立していない、あるいは出現期が短く、長期の飼育には向かない昆虫を展示した。
〔昆虫ランド〕 昆虫以外の陸生節足動物		昆虫との違いを観察することにより、昆虫に関する理解や知識を深めるため、一般的に昆虫と間違えやすいオオゲジ、サソリ、タランチュラ、オオヤスデなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。
〔昆虫ランド〕 なつかしい身近な生き物		アメリカザリガニ、スジエビ、モリアオガエルのオタマジャクシなど40代以上の人が子どもの頃、遊びの中で出会っていた昆虫以外の小動物を展示した。

【昆虫の飼育展示数】

(平成29年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など (パピヨンドーム)	11 種	1,095 頭
外 国 産 昆 虫	53 種	378 頭
夜 行 性 昆 虫	26 種	466 頭
昼 行 性 昆 虫	26 種	553 頭
季 節 の 昆 虫	8 種	22 頭
水 生 昆 虫	12 種	82 頭
旬 の 昆 虫	4 種	32 頭
昆虫以外の陸生節足動物	5 種	25 頭
なつかしい身近な生き物	4 種	13 頭
合 計	149 種	2,666 頭

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展 示 昆 虫 の 維 持 及 び 種 の 保 存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のための チョウその他の 昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島でチョウ類やバッタ、クワガタ、カメムシ類などの昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などを防止するため、他の昆虫展示施設と余剰昆虫を交換した。 譲受け：タランドゥスオオツヤクワガタなど6種 譲渡し：クロカタゾウムシ
チョウその他の 昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類20種、その他の昆虫約150種を累代飼育した。
新 しい 展 示 分 野 開 拓 の た め の 採 集	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島などで、タテハモドキ、アオタテハモドキなどのチョウ類、ゲンゴロウ類などの水生昆虫、オオミドリサルハムシ等の甲虫類、アカホシカメムシ、ヒメホシカメムシなどのカメムシ類、ゴキブリ類、ナナフシ類などを採集した。
外 国 産 昆 虫 等 の 導 入 と 飼 育	カバイロハナムグリ等の外国産昆虫及び昆虫以外の大型多足類を導入し、累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」における カブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園に設置した簡易繁殖場で、カブトムシの幼虫の餌にする腐葉土を落ち葉で作るとともに、市民から譲り受けたカブトムシの幼虫約150頭を入れて、繁殖飼育を行った。
飼 育 昆 虫 の 成 育 管 理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受（利用料金制）

【入館状況】

区 分					入館者数	使 用 料	
有 料 入 園 者	個 人		大人	18 歳以上 65 歳未満	5 1 0 円	17, 764 人	9, 059, 640 円
				65 歳以上	1 7 0 円	1, 781 人	302, 770 円
			小人	18 歳未満 (小・中学生を除く)	1 7 0 円	168 人	28, 560 円
	年 間 パ ス ポ ー ト	購 入	大人	18 歳以上 65 歳未満	1, 5 4 0 円	1, 170 人	1, 801, 800 円
				65 歳以上	5 1 0 円	64 人	32, 640 円
			小人	18 歳未満 (小・中学生を除く)	5 1 0 円	1 人	510 円
		提 示	大人	18 歳以上 65 歳未満	—	5, 828 人	— 円
				65 歳以上	—	350 人	— 円
			小人	18 歳未満 (小・中学生を除く)	—	0 人	— 円
		団 体	大人	18 歳以上 65 歳未満	4 3 0 円	1, 246 人	535, 780 円
				65 歳以上	1 3 0 円	31 人	4, 030 円
			小人	18 歳未満 (小・中学生を除く)	1 3 0 円	0 人	0 円
	優 待 割 引	大人	18 歳以上 65 歳未満	4 3 0 円	9 人	3, 870 円	
			65 歳以上	1 3 0 円	0 人	0 円	
		小人	18 歳未満 (小・中学生を除く)	1 3 0 円	0 人	0 円	
	小 計					28, 412 人	11, 769, 600 円
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)					52, 209 人	0 円	
合 計					80, 621 人	11, 769, 600 円	

(エ) 利用促進

名 称	実施期間	内 容	販売枚数
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共通で利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	1,235 枚
休 館 日 の 開 館	28年 5月 6日 28年 7月20日 28年 7月27日 28年 8月 3日 28年 8月10日 28年 8月17日 28年 8月24日 28年 8月31日 28年10月 5日 28年10月12日 28年10月19日 28年10月26日	ゴールデンウィーク、夏休み及び10月の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上及び入館者の増加を図った。	91 人 30 人 270 人 200 人 291 人 386 人 265 人 249 人 2 人 29 人 165 人 181 人 合計 2,159 人
む し の 日 「 む し む し ク イ ズ ラ リ ー 」	28年6月 4日	6月4日をむしの日として、無料開放し、館内の生体展示を見ながら昆虫について学習していくクイズラリーを実施した。参加者にはくじ引きで、カブトムシの幼虫を型どったチョコレートなどを景品として配布した。	276 人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	内 容
施設の維持管理	入館者に安全・快適な観察環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
「がくしゅう室」の維持管理	自然体験学習や企画展など、多目的に利用する「がくしゅう室」の維持管理を開始した。(28年12月)
利用案内	入館者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
展示解説の充実	写真パネルや地図パネルを追加して、分かりやすい解説とするように努めた。また、生体昆虫展示については、英語表記を添えるとともに、幼児向けにひらがな表記の「おこさまらべる」を取り付けている。また展示ラベルの昆虫写真はより特徴が分かりやすいものへと順次更新を行った。
入館者への涼感サービスの提供	夏期の暑さ対策として7月から9月にかけて、昆虫館玄関前広場とパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。
大型模型の設置	広島市が寄贈を受けた、ギラファノコギリクワガタ、ヘラクレスオオカブトなどの大型模型をエントランス前に設置し、来園者に見て触れて楽しめる撮影スポットを提供した。

(カ) 施設の機能充実

名 称	実施期間	内 容
みどり生きものサポーター・昆虫館募金等による施設の機能充実	通 年	一昨年度に設置したカブトムシの繁殖施設や昨年度設置したゴマダラチョウやオオムラサキの越冬施設のメンテナンスを行うとともに、新たに、樹木園内に防獣柵で囲んだエリアを設けて、ハギ他8種、計25本の樹木を植樹した。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
希少昆虫の生態調査及び自然環境保護の推進	通 年	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒョウモンモドキ保全地域協議会に参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒョウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動を行った。	9 件 《内訳》 ミヤジマトンボ 6 件 ヒョウモンモドキ 3 件

(イ) 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域における住民との協働により、ギフチョウや水生昆虫の保護活動を行うとともに、地域の活性化を図った。	7 件 《内訳》 安佐北区玖谷 3 件 北広島町芸北橋山 4 件

(ウ) 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	実 施 月 等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	28年 8月 ～28年11月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫の保全に取り組んだ。	調査・採卵 8月 孵化・人工飼育 8月～11月 放流 11月 (放流頭数 575 頭)

(エ) 昆虫に関する調査・研究

名 称	実施期間(日)	内 容
昆虫相の調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで採集と昆虫相の調査を行い、ゲンゴロウ等の水生甲虫、草原性のチョウ類などの希少昆虫のほか、東広島市の池を定点観測地としたアカトンボ類の種組成及び頭数の変化を数年にわたって調査した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	29年 2月23日	昆虫館の研究成果を市民に発表する場を設け、昨年度開催した秋の特別企画展示「広島県のゲンゴロウ」の内容、準備方法や展示の工夫、関連したイベントの開催、入場者の反響等について発表した。 (参加者 65人)

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
講習会・観察会 への講師の派遣	通 年	公民館、児童館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	10 件 2,769 人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換を行った。	2 件 84 人

(イ) 学校教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、幼稚園・保育園に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	377 件 10,834 人
総合的な学習 時間の支援	通 年	小学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	9 件 309 人

(ウ) 市民・団体との協働

名 称		実施期間(日)	内 容	参加者数
昆虫解説・作業ボランティアの育成		通 年	館内で昆虫解説やふれあい体験活動などに当たるボランティアや、希少昆虫の保護活動、友の会の活動を補助するボランティアを育成し活動内容の充実を図った。 ボランティア総数：14人	活動延べ人数 11人
ボランティアとの共同イベント		通 年	本の読み聞かせなどボランティア主催のイベントを支援した。	活動延べ人数 1人
広島市森林公園指定管理者	ハロウィンむしむしパレード	28年10月29日 ～28年10月30日	ハロウィンに合わせ、参加者は昆虫やおばけ、その他のキャラクターの仮装をし、小太鼓に合わせて、森林公園内及び昆虫館でパレード行進を行った。	80人 247人 合計 327人
	木の実・落ち葉で遊ぼう	28年11月20日 28年11月23日	秋の木の実や落ち葉を使って、人形、しおりや貼り絵などの工作教室を実施した。 (講師：広島県ネイチャーゲーム協会会員)	128人 197人 合計 325人
	森林公園で手作りクリスマス	28年12月 3日 ～28年12月 4日 28年12月23日 ～28年12月24日	昆虫館では蜜蝋を使ったクリスマスキャンドル作りを、森林公園ではリース作りを行った。	19人 8人 33人 17人 合計 77人
	森林公園でお正月虫絵馬づくり	29年 1月 7日	お正月にちなみ、願い事と合わせて思い思いの昆虫を書いた絵馬を昆虫ランド内の檜の木に飾り付けた。	12人
		29年 1月 8日		5人
		29年 1月14日		3人
		29年 1月15日		2人
		29年 1月21日		3人
		29年 1月22日		5人
		29年 1月28日		8人
		29年 1月29日		8人
		29年 2月 4日		12人
		29年 2月 5日		5人
		29年 2月11日		5人
		29年 2月12日		9人
		29年 2月18日		12人
		29年 2月19日		29人
		29年 2月25日		11人
		29年 2月26日		33人 合計 162人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
森 林 公 園 で お 正 月 森 の 七 福 神 め ぐ り	29年 1月 8日 29年 1月 9日	森林公園や昆虫館内におめでたい七福神と、それに関連した名前の昆虫や植物を置いたポイントを作り、それを巡ってクイズや課題を解決していくクイズラリーを開催した。	49 人 254 人 合計 303 人
森 林 公 園 で お 正 月 虫 み く じ	29年 1月 8日 29年 1月 9日	お正月にちなみ、昆虫を題材にしたおみくじを引き、昆虫ランド内の檜の木に結び付け、新年を占うイベントを実施した。	27 人 82 人 合計 109 人
バ レ ン タ イ ン イ ベ ン ト	29年 2月11日 29年 2月12日	森林公園内の各所で、職員がカップルの記念写真を撮影するサービスを行った。昆虫館では、パピヨンドーム内で、チョウの集まった花束を持って撮影し、写真をオリジナル写真額に入れてプレゼントした。	47 人 56 人 合計 103 人

(エ) 昆虫館友の会の活動

会員内訳

(個人会員：5 人、家族会員：26 家族 96 人)

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
講 習 会 等	28年 6月 4日	農薬がアカトンボに及ぼす影響を調べるため、田の用水路やため池でヤゴの種類構成についての調査を行った。 場所：東広島市志和町	14 人
	28年 9月 7日	昆虫館で開催する「秋の鳴く虫」展で展示するマツムシ、ハヤシノウマオイなどの鳴く虫の採集を行った。 場所：安佐北区中深川	29 人
	28年10月 9日	ため池のトンボの種の移り変わりの調査（定点観測調査、8年目）を行った。 場所：東広島市志和町	16 人
	29年 3月12日	講演会「東広島市志和におけるアカトンボ類の調査」を開催した。 場所：昆虫館	16 人
	29年 3月12日	(公財)広島市文化財団文化財課の職員を講師に迎えて、昆虫をモチーフとした土偶作り体験を行った。 場所：森林公園内林業体験広場	16 人
会 誌 の 発 行	年 1 回	友の会の活動、昆虫に関する知識や話題を載せた会誌「むしむし倶楽部」を発行した。	200 冊

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
野 外 観 察 会	28年 5月28日	トラフトンボやゴマダラチョウなどの初夏の昆虫の観察を行った。 場所：三原市久井町	7 人
	28年 7月10日 28年 7月11日	ホタル類の観察を行った。 場所：北広島町芸北橋山 (1泊2日)	18 人
	28年 7月30日	ヤマトタマシの観察を行った。 場所：南区似島	19 人
	28年 8月20日	ゲンゴロウの幼虫、ミズカマキリなどの水生昆虫の観察を行った。 場所：北広島町芸北橋山	17 人
	28年11月12日	ツチイナゴ、ヒメアカタテハなど晩秋の昆虫について観察した。 場所：三原市久井町	5 人
希少昆虫の生息地の環境整備	28年 4月24日	ギフチョウの産卵数の調査と下草刈りを行った。 場所：安佐北区玖谷埋立地, 権現山	28 人
	28年 5月 7日	ギフチョウの産卵数の調査と下草刈りを行った。 場所：安佐北区玖谷埋立地, 権現山	7 人
	28年 5月28日	ゲンゴロウの産卵に備えて、卵を産み付ける水生植物を増やすために、生息地でクワイの植え付けを行った。 場所：北広島町芸北橋山	8 人
	28年 5月28日	ヒョウモンモドキの生息地の食草保護と雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	7 人
	28年 6月12日	ゲンゴロウ類、ミズカマキリなどの水生昆虫を保護するため、生息地の雑草の除去及び水の流入する水路の整備を行った。 場所：北広島町芸北橋山	14 人
	28年 8月20日	雑草の除去など生息地の環境を整備するとともに、ナミゲンゴロウ幼虫及び成虫の生息数の確認を行った。 場所：北広島町芸北橋山	14 人
	28年11月12日	ヒョウモンモドキの生息地の雑草刈りを行った。 場所：三原市久井町	5 人
	28年11月27日	ゲンゴロウ類、ミズカマキリなどの水生昆虫を保護するため、生息地の雑草等の除去作業を行った。 場所：北広島町芸北橋山	5 人

(オ) コンクールその他催し物の開催

a コンクール

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
むしむし写真 コンテスト	応募期間 5/1～9/30 作品展示 1/7～2/26 表彰式 1/7	昆虫をテーマとした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 134人 応募点数 472点 入賞点数 37点

b 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
むしむし探検隊	28年 5月22日 (同日2回実施)	クロスジギンヤンマ、ナミテントウ、ヤナギハムシなど初夏の昆虫を観察し、名前調べを行った。	47 人
	28年 6月12日	雨天のため、ヤゴ類、クワガタムシ類、ナミアゲハのサナギなど、雨天でも観察できる昆虫の観察と名前調べを行った。	35 人
	28年 7月 3日	トホシカメムシ、ヤブキリ、モリズミウマなどの夏の昆虫の観察と名前調べを行った。	26 人
	28年 9月 4日	ショウリョウバッタ、ネキトンボ、コクワガタ、ヤマトフキバッタなどの夏の終わりから秋の初めに出現する昆虫を観察し、名前調べを行った。	25 人
むしむしみつけ隊 (幼児と保護者対象)	28年 5月29日 (同日2回実施)	アリジゴク、オカダンゴムシ、モリアオガエルなど足元で見つけられる昆虫や小動物を観察し、名前調べを行った。	49 人
	28年 6月19日 (同日2回実施)	ヒシバッタ、クチバスズメガ、マイマイガの幼虫など足元で見つけられる昆虫や小動物を観察し、名前調べを行った。	47 人
	28年 7月10日 (同日2回実施)	コシアキトンボ、コクワガタ、スジクワガタ、トノサマガエルなど足元で見つけられる昆虫や小動物を観察し、名前調べを行った。	51 人
	28年 9月25日 (同日2回実施)	エンマコオロギ、イナゴなど足元で見つけられる昆虫を観察し、名前調べを行った。	17 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
昆虫ナイトウオーク	28年 7月31日	夜に活動する昆虫、樹液に集まる昆虫や灯りに集まる昆虫の観察を行った。	86 人
	28年 8月 7日		84 人
どんぐり探検隊	28年11月16日	昆虫館周辺及び昆虫好物樹木園でアラカシ、シラカシ、コナラ、クヌギ、ミズナラなど様々な種類の樹木とそのドングリの観察と収集を行うとともに、昆虫の食痕等を観察し、昆虫との関係を解説した。	50 人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	29年 3月 5日	自然に関する理解を深めるため、広島市南区元宇品で動・植物や昆虫を観察した。	28 人

c 昆虫教室その他催し物

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
む し む し 折 り 紙 教 室	28年 4月 3日	幼児や児童と、その保護者を対象に、折り紙でいろいろな昆虫を作る教室を開催した。	147 人
	28年 4月10日		268 人
	28年 4月10日		169 人
			合計 584 人
昆虫館お仕事体験 (寄附者対象)	28年 4月 4日	寄附者を対象に、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及を図るため、餌やり、放蝶など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	1家族 4人
	29年 3月 4日		1家族 3人
			合計 2家族 7人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
土曜のムシの日	28年 5月14日	生きた卵、幼虫、サナギの観察、及び双眼実体顕微鏡を用いたチョウの鱗粉の観察や、翅の濡れない仕組みについての実験を行った。	48 人
	28年 6月25日	カブトムシやクワガタムシの卵から成虫までの各ステージの実物を見せながら飼育のコツを解説した。	34 人
	28年 9月10日	生きたクツワムシとコオロギを教材に、鳴く虫の体の特徴と鳴く仕組みの観察、解説を行った後、昆虫館周辺で鳴く虫を探し、その生息環境を観察した。	12 人
	28年10月 1日	生きたゲンゴロウ数種類を観察しながら、体の仕組み、泳ぎ方や餌の採り方、野外での生態や生活史、生息環境の現状などを分かりやすく解説した。	48 人
	28年11月12日	生きたカマキリを教材として、体の特徴や生態、生活史などを解説した後、野外で卵のう探しを行った。	35 人
	28年12月 7日	外国産カブトムシやクワガタムシの標本作り教室を開催した。	81 人
夏 休 み 子 ども 昆 虫 相 談	28年 7月18日 ～28年 8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて、助言、指導を行った。	18 件
む し む し サ マ ー ス ク ー ル	28年 7月23日 28年 7月31日 28年 8月20日 28年 8月27日	小学生を対象に、昆虫の飼育や夏休みのイベント実施など、昆虫館の仕事を体験できる機会を提供した。	8 人 8 人 7 人 6 人 合計 29 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
虫 タ ッ チ !	28年11月 5日 28年11月 6日 28年11月12日 28年11月13日 28年11月19日 28年11月20日 28年11月23日 28年11月26日 28年11月27日 29年 3月11日 29年 3月12日 29年 3月18日 29年 3月19日 29年 3月20日 29年 3月25日 29年 3月26日	幼児や児童と、その保護者を対象に、いろいろな昆虫に触れ合える、年齢に合わせた体験イベントを実施した。	185 人 405 人 310 人 495 人 60 人 350 人 320 人 213 人 100 人 210 人 350 人 187 人 694 人 588 人 212 人 419 人 合計 5,098 人
山 ま ゆ 門 松 を 飾 ろ う !	29 年 1月 7日 ~29年 2月26日	昆虫ランドに樫の木の門松を設置し、虫みくじ、虫絵馬やまゆ玉などを入館者に飾り付けてもらった。	406 人
ま ゆ 玉 遊 び (まゆ玉細工工作)	29年 1月14日 29年 1月15日 29年 1月21日 29年 1月22日 29年 1月28日 29年 1月29日 29年 2月 4日 29年 2月 5日 29年 2月18日 29年 2月19日 29年 2月25日 29年 2月26日	まゆ玉を使った自由度の高い工作教室を開催した。	3 人 0 人 12 人 30 人 20 人 62 人 28 人 8 人 102 人 112 人 70 人 202 人 合計 649 人
啓 蟄 イ ベ ン ト カブトムシの幼虫を 飼 っ て み よ う !	29年 3月 4日	カブトムシの幼虫の飼育方法を説明するとともに、参加者に幼虫を配布した。	29 組 92 人

(カ) 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	昆虫の観察や昆虫とのふれあいを目的として、幼稚園・保育園の園児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	184 件 5,906 人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の職場体験学習に協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	2 件 7 人

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
むしの赤ちゃん ～いもむし・けむし～	28年 4月23日 ～28年 5月 8日	昆虫の大きな特徴である変態をテーマとして、チョウやガ、その他の昆虫の様々な色彩を持つ幼虫の生体、写真パネルや解説パネル等の展示を行った。会場には自由に参加できる、いもむし・けむしをテーマとした塗り絵・貼り絵の工作やコスプレ写真撮影のコーナーを設けた。また、いもむし・けむしとのふれあい体験も実施した。
むしむしおえかき展	28年 5月 1日 ～29年 3月31日	保育園・幼稚園の園児が描いた虫の絵を園ごとにまとめて展示した。(3か月ごとに展示替え)
世界のカブト・クワガタ	28年 7月16日 ～28年 9月 4日	世界のカブトムシ・クワガタムシの生体を展示し、ふれあい体験や記念撮影、カブ・クワバトルショー、カブトやクワガタの採集に効果のあるバナナトラップ作りやトラップしかけ体験などのイベントを実施した。また、サマースクール参加者による展示昆虫の説明やクイズの問題の読み上げなどサマースクールのお仕事体験の場として会場を活用した。
秋の鳴く虫展	28年 9月10日 ～28年 9月25日	美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。
まねる・かくれる ～擬態のふしぎ～	28年10月 8日 ～28年11月6日	オオコノハムシやハナビラカマキリなどの生きた昆虫や標本、写真パネル、解説パネルを展示し、昆虫の擬態の様子とその仕組みや生きていくうえでの意味について分かりやすく解説した。開催期間中、自由参加型サブイベントとして、落ち葉でオオコノハムシを作る貼り絵教室も実施した。
虫だって情熱の カープレッド	29年 1月 7日 ～29年 1月29日	増設した「がくしゅう室」の完成と広島東洋カープのセリーグ優勝を祝って、オオキンカメムシ、ベニカミキリなどの赤い体色をもつ昆虫の生体、標本、写真などを展示し、赤い色を持つ意味やその生態を分かりやすく解説した。またカープのユニフォームやグッズ、資料等も展示した。
むしむし写真 コンテスト 入賞作品展	29年 1月 9日 ～29年 2月26日	むしむし写真コンテストの入賞作品を展示した。

(ク) 広報普及

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	テレビ 10 件 ラジオ 8 件 新聞 21 件 雑誌 3 件 インターネットニュース 1 件 計 43 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 1,000 か所 チラシ(新聞折込) 118,000 軒×3 回
ホームページによる広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス件数 48,257 件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	5 回
ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービスの活用	通 年	(公財)ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービス(会員約2万人)に施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	5 件
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間パスポート購入者の携帯電話及びパソコンに催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を配信した。	4 件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫カードや缶バッジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館のPR及び入館者の増加を図った。	昆虫シール 5,000 枚 缶バッジ 200 個
マツダスタジアムにおけるPR活動	28年 7月23日	マツダスタジアム内で開催された安佐動物公園のASA ZOO-ZOO広場において、昆虫ふれあい体験及びグッズの販売を行い、昆虫館のPRを行った。	1 回

(ケ) 出版物の発行

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」 「飼ってみよう」	標本の作り方や身近な昆虫の飼い方を分かりやすく解説したリーフレットを作製、配布し、昆虫に関する知識の普及を図った。	1,500 部 1,500 部

(コ) 昆虫に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育相談、昆虫の生態の質問など、昆虫に関する相談を受けて助言指導した。	633 件

⑤ 事業運営〔共通事業〕

名 称	内 容	配布部数
協会設立40周年記念誌 「40年のあゆみ」の発行 (協会設立40周年記念事業)	昭和51年10月1日の設立から現在までの沿革、事業の概要、組織の変遷などを取りまとめ、「40年間のあゆみ」として発行、配布した。	700 部

(2) 収益事業等

① 売店の運営など〔収1事業〕

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営 業 場 所	内 容
安 佐 動 物 公 園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植 物 公 園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆 虫 館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園(交通ランド)	自動販売機による清涼飲料水などの販売

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他 1 事業〕

広島市から指定（期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド(大芝公園)のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

(ア) 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区 分					入 園 者 数	使 用 料
有 料 入 園 者	個 人	大 人	18 歳以上 65 歳未満	780 円	44, 144 人	34, 432, 320 円
		大 人	65 歳以上	340 円	2, 021 人	687, 140 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	340 円	48, 060 人	16, 340, 400 円
	団 体	大 人	18 歳以上 65 歳未満	640 円	16 人	10, 240 円
		大 人	65 歳以上	270 円	0 人	0 円
		小 人	小・中・高校生及び18歳未満	270 円	161 人	43, 470 円
	小 計				94, 402 人	51, 513, 570 円
減 免 等 入 園 者（ 障 害 者 、 そ の 他 ）					33, 132 人	0 円
合 計					127, 534 人	51, 513, 570 円

【コインロッカー利用状況】

区 分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100 円）	50,343 回	5,034,300 円

ｂ 交通ランド

【利用状況】

区 分			利用台数	使 用 料
ゴーカート	個 人	1人乗り(1台1回100円)	20,038 台	2,003,800 円
		2人乗り(1台1回150円)	32,369 台	4,855,350 円
	団 体	1人乗り(1台1回 80円)	0 台	0 円
		2人乗り(1台1回120円)	187 台	22,440 円
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	480 台	0 円
		2人乗り(—)	6,627 台	0 円
合 計			59,701 台	6,881,590 円

(イ) 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
交通ランドゴーカート 運 休 日 の 運 行	28年 5月 2日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート 運休日に行き、利用者に対するサービスの 向上を図った。	利用台数 316台
ファミリープール 優待利用券の発行	28年 5月27日 ～28年 6月30日	入園券に園内の売店・食堂で使える割引券を セットにした優待利用券を発行・販売し、 新たな顧客の獲得に努めた。	販売枚数 2,495枚 利用枚数 1,506枚
ファミリープール ポイントカードの発行	28年 7月 1日 ～28年 8月31日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料 を免除するポイントカードを発行し、リピ ーターの確保を図った。	配布枚数 37,500枚 達成枚数 1,232枚
ファミリープール イ ベ ン ト 開 催	28年 7月27日 28年 7月29日 28年 8月 3日 28年 8月 5日 28年 8月17日 28年 8月19日	ゲーム大会を開催し、利用者に対するサー ビスの向上を図った。	1日3回 18回
ファミリープール 休 園 日 の 開 園	28年 8月 6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対 するサービスの向上及び入園者の増加を 図った。	入園者数 2,282人

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
交通ランドにおける広島市の交通安全行政への協力	通 年	交通安全教室やチャイルドシート取付講習など広島市が企画・実施する事業に協力した。
ファミリープール 涼感サービスの提供	28年 7月 1日 ～28年 8月31日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受（利用料金制）

a 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	1,295 台	1,787,100 円
普通自動車（450円）	105,610 台	47,524,500 円
減 免 利 用	2,105 台	0 円
合 計	109,010 台	49,311,600 円

b 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,380円）	147 台	202,860 円
普通自動車（450円）	41,623 台	18,730,350 円
減 免 利 用	1,336 台	0 円
合 計	43,106 台	18,933,210 円

(イ) 施設の維持管理

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
中 央 公 園 樹名板づくり教室	28年11月13日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	42人
ファミリープール 体験水泳教室	28年 7月26日 28年 8月 2日 28年 8月 9日 28年 8月23日	親子を対象に、泳ぎ方を指導し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	106組 221人
中央公園における 平和学 習	28年 9月29日	市民を対象に、中央公園内にある中国軍管区司令部跡（被爆した旧防空作戦室）で、戦争体験者が当時の悲惨な状況を説明した。	28人

(イ) 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
インターネット・ ホームページ広報 (6ページの公益目的事業に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 143,840 件
マ ス コ ミ 広 報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 9 件 新 聞 3 件 情報誌等 6 件 計 18 件
ポスター広告及び PR用チラシの配布	28年 5月23日 ～28年 8月31日	小学校、公民館などにおいて、ファミリープールのポスター広告を行った。また、PR用チラシを作製し、公共施設などを通じて配布した。	ポスター 678 か所 チラシ 345 か所

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

平成28年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	289,927,399	351,027,304	△ 61,099,905
未収金	1,486,317	1,954,357	△ 468,040
商品	5,654,240	5,393,840	260,400
流動資産合計	297,067,956	358,375,501	△ 61,307,545
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	29,488,360	26,605,836	2,882,524
減価償却引当資産	22,933,337	21,634,236	1,299,101
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	537,265	636,184	△ 98,919
施設の魅力づくり事業資金積立資産		1,500,000	△ 1,500,000
特定資産合計	471,045,896	468,463,190	2,582,706
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 1,044,417	△ 860,108	△ 184,309
車両運搬具	6,683,207	6,683,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 6,068,114	△ 5,784,230	△ 283,884
器具備品	20,572,211	20,198,911	373,300
器具備品減価償却累計額	△ 17,401,075	△ 16,470,248	△ 930,827
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	113,614	87,172	26,442
その他固定資産合計	5,695,062	6,694,340	△ 999,278
固定資産合計	588,740,958	587,157,530	1,583,428
資産合計	885,808,914	945,533,031	△ 59,724,117

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	61,235,502	90,259,785	△ 29,024,283
未払消費税等	9,967,000	18,568,200	△ 8,601,200
未払法人税等	2,614,300	3,328,400	△ 714,100
前受金	584,000	409,000	175,000
買掛金	8,896,836	8,350,457	546,379
預り金	11,843,170	11,330,076	513,094
賞与引当金	31,300,026	28,577,246	2,722,780
流動負債合計	126,440,834	160,823,164	△ 34,382,330
2. 固定負債			
退職給付引当金	448,524,572	400,093,385	48,431,187
固定負債合計	448,524,572	400,093,385	48,431,187
負債合計	574,965,406	560,916,549	14,048,857
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	537,265	636,184	△ 98,919
指定正味財産合計	504,137,265	504,236,184	△ 98,919
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(404,137,265)	(404,236,184)	(△ 98,919)
2. 一般正味財産	△ 193,293,757	△ 119,619,702	△ 73,674,055
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(37,420,271)	(37,621,170)	(△ 200,899)
正味財産合計	310,843,508	384,616,482	△ 73,772,974
負債及び正味財産合計	885,808,914	945,533,031	△ 59,724,117

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表

平成 2 9 年 3 月 3 1 日 現 在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	133,835,798	147,057,964	9,033,637		289,927,399
未収金	599,380	886,937			1,486,317
未収消費税等	1,351,738	90,176	975,234	△ 2,417,148	0
商品		5,654,240			5,654,240
流動資産合計	135,786,916	153,689,317	10,008,871	△ 2,417,148	297,067,956
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		29,488,360			29,488,360
減価償却引当資産	1,088,222	21,845,115			22,933,337
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	537,265				537,265
特定資産合計	418,259,815	52,786,081			471,045,896
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 1,044,417			△ 1,044,417
車両運搬具	1,703,310	4,979,897			6,683,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,088,222	△ 4,979,892			△ 6,068,114
器具備品	4,290,880	16,281,331			20,572,211
器具備品減価償却累計額	△ 3,070,267	△ 14,330,808			△ 17,401,075
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	113,614				113,614
その他固定資産合計	1,949,315	3,745,747			5,695,062
固定資産合計	532,209,130	56,531,828			588,740,958
資産合計	667,996,046	210,221,145	10,008,871	△ 2,417,148	885,808,914
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	45,959,608	11,747,104	3,528,790		61,235,502
未払消費税等	9,919,360	2,464,788		△ 2,417,148	9,967,000
未払法人税等		2,614,300			2,614,300
前受金	584,000				584,000
買掛金		8,896,836			8,896,836
預り金	3,084,359	2,467,300	6,291,511		11,843,170
賞与引当金	26,604,848	2,523,773	2,171,405		31,300,026
流動負債合計	86,152,175	30,714,101	11,991,706	△ 2,417,148	126,440,834
2. 固定負債					
退職給付引当金	377,535,845	29,488,360	41,500,367		448,524,572
固定負債合計	377,535,845	29,488,360	41,500,367		448,524,572
負債合計	463,688,020	60,202,461	53,492,073	△ 2,417,148	574,965,406
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	537,265				537,265
指定正味財産合計	504,137,265				504,137,265
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(404,137,265)				(404,137,265)
2. 一般正味財産	△ 299,829,239	150,018,684	△ 43,483,202		△ 193,293,757
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,122,550)	(23,297,721)			(37,420,271)
正味財産合計	204,308,026	150,018,684	△ 43,483,202		310,843,508
負債及び正味財産合計	667,996,046	210,221,145	10,008,871	△ 2,417,148	885,808,914

3 正味財産増減計算書

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	100,250	0
基本財産受取利息振替額	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	91,916	91,916	0
緑化基金受取利息振替額	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	16,708	16,708	0
協会賞基金受取利息振替額	8,354	8,354	0
引当資産等受取利息	115,312	117,000	△ 1,688
受取会費			
会員受取会費	932,000	936,500	△ 4,500
事業収益			
利用料金収益	276,319,450	300,751,980	△ 24,432,530
指定管理料収益	998,969,831	992,530,691	6,439,140
維持補修業務等受託収益	15,137,510	28,407,779	△ 13,270,269
保護増殖業務受託収益	416,280	416,280	0
売店等売上収益	176,233,968	200,858,130	△ 24,624,162
売店等事業収益	25,920,628	24,561,956	1,358,672
実費徴収金収益	2,338,387	2,562,738	△ 224,351
手数料収益	51,786	104,115	△ 52,329
使用料収益	3,783,465	3,904,770	△ 121,305
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	75,076,242	89,880,604	△ 14,804,362
受取動物管理助成金	544,900	644,417	△ 99,517
受取動物保護活動等助成金	266,000	428,000	△ 162,000
受取負担金			
受取負担金	1,478,300	2,218,427	△ 740,127
受取寄付金			
受取寄付金	119,880	23,000	96,880
受取寄付金振替額	1,527,083	358,920	1,168,163
受取協賛金			
受取協賛金	1,000,000	1,000,000	0
雑収益			
受取利息	4	50	△ 46
雑収益	3,556,438	3,644,406	△ 87,968
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益		3,142,300	△ 3,142,300
経常収益計	1,588,203,502	1,660,908,101	△ 72,704,599

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	210,407,823	206,420,466	3,987,357
諸手当	187,108,656	175,612,593	11,496,063
報酬	116,471,004	118,733,175	△ 2,262,171
賞与引当金繰入	29,128,621	26,695,714	2,432,907
災害補償費		372,942	△ 372,942
賃金	89,528,077	90,951,721	△ 1,423,644
退職給付費用	42,388,633	8,266,871	34,121,762
福利厚生費	106,304,246	104,492,254	1,811,992
退職共済掛金	204,000	216,000	△ 12,000
仕入費	83,609,820	95,243,981	△ 11,634,161
食糧費	300,694	159,193	141,501
諸謝金	3,829,700	4,073,860	△ 244,160
諸会費	849,670	785,720	63,950
報償費	650,111	545,289	104,822
旅費	2,728,776	3,801,955	△ 1,073,179
通信運搬費	3,405,395	3,629,891	△ 224,496
減価償却費	1,399,020	1,568,284	△ 169,264
消耗什器備品費	1,124,535	954,171	170,364
消耗品費	104,900,555	110,446,090	△ 5,545,535
器具備品購入費	246,780	151,200	95,580
車両運搬具購入費	1,095,544	1,490,400	△ 394,856
原材料費	1,638,882	1,429,500	209,382
委託料	290,586,770	271,462,561	19,124,209
修繕費	55,577,168	39,207,529	16,369,639
工事請負費	1,819,638	11,586,240	△ 9,766,602
燃料費	20,235,788	20,193,506	42,282
光熱水費	131,938,354	126,458,128	5,480,226
手数料	3,196,228	2,489,645	706,583
使用料及び賃借料	12,074,236	12,710,690	△ 636,454
保険料	2,213,341	2,309,380	△ 96,039
租税公課費	58,106,448	62,995,396	△ 4,888,948
負担金	1,592,179	1,568,985	23,194
補助金	597,700	574,000	23,700
協賛金	50,000	50,000	0
広報費	2,885,091	2,016,786	868,305
商品開発費	8,100	93,423	△ 85,323
支払利息		2,062,903	△ 2,062,903
指定管理納付金	6,661,140	7,334,570	△ 673,430

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	19,658,928	16,765,200	2,893,728
諸手当	17,879,404	13,995,079	3,884,325
報酬	10,323,138	11,022,624	△ 699,486
賞与引当金繰入	2,171,405	1,881,532	289,873
賃金	3,767,163	5,274,088	△ 1,506,925
退職給付費用	6,245,090	22,837,527	△ 16,592,437
福利厚生費	8,431,906	7,369,884	1,062,022
退職共済掛金	264,000	260,000	4,000
会議費	157,030	157,010	20
諸謝金	440,000	638,000	△ 198,000
諸会費	252,960	291,840	△ 38,880
報償費	4,536	4,536	0
旅費	202,280	128,320	73,960
通信運搬費	971,706	920,660	51,046
消耗品費	1,042,426	1,133,255	△ 90,829
委託料	873,202	1,108,182	△ 234,980
手数料	103,232	109,154	△ 5,922
使用料及び賃借料	10,827,529	10,796,955	30,574
負担金	642,039	591,931	50,108
協賛金	140,000	40,000	100,000
雑費	2,560		2,560
経常費用計	1,659,263,257	1,614,480,789	44,782,468
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 71,059,755	46,427,312	△ 117,487,067
当期経常増減額	△ 71,059,755	46,427,312	△ 117,487,067
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
器具備品除却損		35,165	△ 35,165
経常外費用計	0	35,165	△ 35,165
当期経常外増減額	0	△ 35,165	35,165
税引前当期一般正味財産増減額	△ 71,059,755	46,392,147	△ 117,451,902
法人税、住民税及び事業税	2,614,300	3,328,400	△ 714,100
当期一般正味財産増減額	△ 73,674,055	43,063,747	△ 116,737,802
一般正味財産期首残高	△ 119,619,702	△ 162,683,449	43,063,747
一般正味財産期末残高	△ 193,293,757	△ 119,619,702	△ 73,674,055

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	1,428,164	658,028	770,136
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 5,734,247	△ 4,566,084	△ 1,168,163
当期指定正味財産増減額	△ 98,919	299,108	△ 398,027
指定正味財産期首残高	504,236,184	503,937,076	299,108
指定正味財産期末残高	504,137,265	504,236,184	△ 98,919
Ⅲ 正味財産期末残高	310,843,508	384,616,482	△ 73,772,974

4 正味財産増減計算書内訳表

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息					115,312		115,312			115,312
受取会費										
会員受取会費		932,000		932,000						932,000
事業収益										
利用料金収益		151,526,770		151,526,770		124,792,680	124,792,680			276,319,450
指定管理料収益		830,537,000		830,537,000		168,432,831	168,432,831			998,969,831
維持補修業務等受託収益		8,307,590		8,307,590		6,829,920	6,829,920			15,137,510
保護増殖業務受託収益		416,280		416,280						416,280
売店等売上収益					176,233,968		176,233,968			176,233,968
売店等事業収益					25,405,636	514,992	25,920,628			25,920,628
実費徴収金収益					2,338,387		2,338,387			2,338,387
手数料収益					51,786		51,786			51,786
使用料収益					3,783,465		3,783,465			3,783,465
受取補助金等										
受取協会運営等補助金								75,076,242		75,076,242
受取動物管理助成金		544,900		544,900						544,900
受取動物保護活動等助成金		266,000		266,000						266,000
受取負担金										
受取負担金	117,000	1,361,300		1,478,300						1,478,300
受取寄付金										
受取寄付金		119,880		119,880						119,880
受取寄付金振替額		1,527,083		1,527,083						1,527,083
受取協賛金										
受取協賛金		1,000,000		1,000,000						1,000,000
雑収益										
受取利息	4			4						4
雑収益	191,096	1,141,562	119,052	1,451,710	96,218	628,276	724,494	1,380,234		3,556,438
経常収益計	3,872,012	998,532,491	119,052	1,002,523,555	208,024,772	301,198,699	509,223,471	76,456,476		1,588,203,502

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		199,053,423		199,053,423	11,354,400		11,354,400			210,407,823
諸手当		172,456,316	6,671,023	179,127,339	7,251,158	730,159	7,981,317			187,108,656
報酬	1,493,125	83,361,703		84,854,828	14,050,683	17,565,493	31,616,176			116,471,004
賞与引当金繰入		25,336,228	1,268,620	26,604,848	1,725,568	798,205	2,523,773			29,128,621
賃金		56,656,437		56,656,437	24,064,660	8,806,980	32,871,640			89,528,077
退職給付費用		39,506,109		39,506,109	2,882,524		2,882,524			42,388,633
福利厚生費	242,274	89,247,312	5,522,441	95,012,027	6,634,023	4,658,196	11,292,219			106,304,246
退職共済掛金					204,000		204,000			204,000
仕入費					83,609,820		83,609,820			83,609,820
食糧費		300,694		300,694						300,694
諸謝金	306,000	3,466,700		3,772,700		57,000	57,000			3,829,700
諸会費		773,470		773,470	76,200		76,200			849,670
報償費	60,000	590,111		650,111						650,111
旅費	10,800	2,576,356		2,587,156	141,620		141,620			2,728,776
通信運搬費	69,151	2,948,980	35,823	3,053,954	116,058	235,383	351,441			3,405,395
減価償却費		99,919	283,884	383,803	1,015,217		1,015,217			1,399,020
消耗什器備品費		410,671	97,200	507,871	616,664		616,664			1,124,535
消耗品費	1,256,477	96,970,904	69,000	98,296,381	3,496,704	3,107,470	6,604,174			104,900,555
器具備品購入費		166,320		166,320		80,460	80,460			246,780
車両運搬具購入費		1,095,544		1,095,544						1,095,544
原材料費		1,638,882		1,638,882			0			1,638,882
委託料	988,200	135,973,223	900,900	137,862,323	1,863,207	150,861,240	152,724,447			290,586,770
修繕費		32,562,612	47,304	32,609,916	2,045,126	20,922,126	22,967,252			55,577,168
工事請負費		1,819,638		1,819,638						1,819,638
燃料費		19,917,742	27,706	19,945,448	28,615	261,725	290,340			20,235,788
光熱水費		79,465,572		79,465,572	6,267,990	46,204,792	52,472,782			131,938,354
手数料	20,458	2,564,200	1,100	2,585,758	355,528	254,942	610,470			3,196,228
使用料及び賃借料		7,379,657	6,710	7,386,367	3,608,517	1,079,352	4,687,869			12,074,236
保険料		1,151,480	41,920	1,193,400	297,481	722,460	1,019,941			2,213,341
租税公課費		46,189,658	49,500	46,239,158	7,745,528	4,121,762	11,867,290			58,106,448
負担金	1,100,000	459,112		1,559,112	33,067		33,067			1,592,179
補助金	597,700			597,700						597,700
協賛金		50,000		50,000						50,000
広報費		2,667,891		2,667,891	205,500	11,700	217,200			2,885,091
商品開発費					8,100		8,100			8,100
指定管理納付金		5,974,000		5,974,000		687,140	687,140			6,661,140

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								19,658,928		19,658,928
諸手当								17,879,404		17,879,404
報酬								10,323,138		10,323,138
賞与引当金繰入								2,171,405		2,171,405
賃金								3,767,163		3,767,163
退職給付費用								6,245,090		6,245,090
福利厚生費								8,431,906		8,431,906
退職共済掛金								264,000		264,000
会議費								157,030		157,030
諸謝金								440,000		440,000
諸会費								252,960		252,960
報償費								4,536		4,536
旅費								202,280		202,280
通信運搬費								971,706		971,706
消耗品費								1,042,426		1,042,426
委託料								873,202		873,202
手数料								103,232		103,232
使用料及び賃借料								10,827,529		10,827,529
負担金								642,039		642,039
協賛金								140,000		140,000
雑費								2,560		2,560
経常費用計	6,144,185	1,112,830,864	15,023,131	1,133,998,180	179,697,958	261,166,585	440,864,543	84,400,534		1,659,263,257
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,272,173	△ 114,298,373	△ 14,904,079	△ 131,474,625	28,326,814	40,032,114	68,358,928	△ 7,944,058		△ 71,059,755
当期経常増減額	△ 2,272,173	△ 114,298,373	△ 14,904,079	△ 131,474,625	28,326,814	40,032,114	68,358,928	△ 7,944,058		△ 71,059,755
他会計振替額	677,578	62,205,000	14,823,422	77,706,000	△ 23,642,000	△ 55,864,000	△ 79,506,000	1,800,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,594,595	△ 52,093,373	△ 80,657	△ 53,768,625	4,684,814	△ 15,831,886	△ 11,147,072	△ 6,144,058		△ 71,059,755
法人税、住民税及び事業税					2,614,300		2,614,300			2,614,300
当期一般正味財産増減額	△ 1,594,595	△ 52,093,373	△ 80,657	△ 53,768,625	2,070,514	△ 15,831,886	△ 13,761,372	△ 6,144,058		△ 73,674,055
一般正味財産期首残高	67,459,634	△ 314,035,595	515,347	△ 246,060,614	133,862,359	29,917,697	163,780,056	△ 37,339,144		△ 119,619,702
一般正味財産期末残高	65,865,039	△ 366,128,968	434,690	△ 299,829,239	135,932,873	14,085,811	150,018,684	△ 43,483,202		△ 193,293,757

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	8,354			8,354						8,354
受取寄付金										
受取寄付金		1,428,164		1,428,164						1,428,164
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 2,278,959		△ 5,734,247						△ 5,734,247
当期指定正味財産増減額	0	△ 98,919		△ 98,919						△ 98,919
指定正味財産期首残高	413,600,000	90,636,184		504,236,184						504,236,184
指定正味財産期末残高	413,600,000	90,537,265		504,137,265						504,137,265
Ⅲ 正味財産期末残高	479,465,039	△ 275,591,703	434,690	204,308,026	135,932,873	14,085,811	150,018,684	△ 43,483,202		310,843,508

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小 計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	26,605,836	2,882,524	—	29,488,360
減価償却引当資産	21,634,236	1,299,101	—	22,933,337
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	636,184	—	98,919	537,265
施設の魅力づくり事業資金積立資産	1,500,000	—	1,500,000	0
小 計	468,463,190	4,181,625	1,598,919	471,045,896
合 計	580,463,190	4,181,625	1,598,919	583,045,896

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小 計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	29,488,360	(—)	(—)	(29,488,360)
減価償却引当資産	22,933,337	(—)	(22,933,337)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(—)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	537,265	(537,265)	(—)	(—)
小 計	471,045,896	(404,137,265)	(37,420,271)	(29,488,360)
合 計	583,045,896	(504,137,265)	(49,420,271)	(29,488,360)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,848,194	551,760,000	23,911,806
第327回利付国債	899,748	946,620	46,872
合 計	528,747,942	552,706,620	23,958,678

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	3,960,396	75,123,000	79,036,638	46,758	流動負債(※)
助成金 動物管理助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	544,900	544,900	0	
動物保護活動等助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	266,000	266,000	0	
合 計		3,960,396	75,933,900	79,847,538	46,758	

※ 当該残高は、単年度事業に係る補助金の精算返還金(未払金)である。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
受取寄付金の振替額	1,527,083
合 計	5,734,247

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	広 島 市	広 島 市 中 区	—	—	—	理事15名中 市職員3名 元市職員3名	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	999,115,000	未払金	145,169
								広島市の公園及び公園施設の維持補修等	15,285,088	未払金	147,578
							協会事業に対する補助	協会運営事業に対する補助	75,123,000	未払金	46,758

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。上表の「期末残高」欄の金額は、広島市への精算返還金(未払金)である。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
- 財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。
2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	28,577,246	31,300,026	28,577,246	-	31,300,026
退職給付引当金	400,093,385	48,532,455	101,268	-	448,524,572

財 産 目 録

平成29年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	9,797,562		
		普通預金	運転資金として			
		広島銀行本店営業部		52,400,480		
		広島銀行安支店		104,768,485		
		広島銀行五日市八幡支店		58,603,574		
		広島銀行福田支店		6,407,682		
		定期預金	運転資金として			
		山陰合同銀行広島支店		10,000,000		
		西日本シティ銀行広島支店		10,000,000		
		もみじ銀行紙屋町支店		10,000,000		
		西京銀行広島支店		10,000,000		
		広島信用金庫紙屋町支店		6,000,000		
		信用組合広島商銀本店営業部		10,000,000		
		振替口座	ゆうちょ銀行日浦郵便局	運転資金として	1,318,278	
	ゆうちょ銀行広島城山郵便局			482,594		
ゆうちょ銀行広島馬木郵便局			148,744			
未収金 商品	売店業務等委託先業者ほか	販売手数料等	1,486,317			
	オリジナルグッズ他	来園者等への販売用	5,654,240			
流動資産合計				297,067,956		
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産について、満期保有目的で保有し、運用益を動物公園事業等の財源として使用している。	112,000,000	
	特定資産	緑化基金積立資産	投資有価証券			
			第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産について、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	412,736,000	
			第327回利付国債	同上	898,328	
		広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	投資有価証券			
			第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産について、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000	
		退職給付引当資産	普通預金			
			広島銀行本店営業部	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	1,605,836	
			広島銀行安支店		2,882,524	
			定期預金			
			広島銀行安支店	同上	10,000,000	
			広島県信用組合安古市支店	同上	10,000,000	
			広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	5,000,000	
		減価償却引当資産	普通預金			
			広島銀行本店営業部	器具備品等の更新に備え管理している預金	3,918,120	
			広島銀行安支店	同上	638,929	
			広島銀行五日市八幡支店	同上	310,840	
			広島銀行福田支店	同上	65,448	
			定期預金			
			広島信用金庫紙屋町支店	同上	4,000,000	
			広島市信用組合安支店	同上	10,000,000	
			広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	4,000,000	
			備品等購入資金積立資産	普通預金		
		広島銀行本店営業部		器具備品等の取得に備え管理している預金	452,606	
		定期預金				
		広島市農業協同組合あさひが丘支店		同上	1,000,000	
	みどり生きものサポーター募金積立資産	普通預金				
		広島銀行安支店	魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金	510,323		
		広島銀行福田支店	同上	26,942		
	その他固定資産	建物	植物公園 温室及び倉庫 62.3㎡	収益事業における販売用植物の展示・保管用	2	
		構築物	安佐動物公園 仮設売店 9.7㎡	収益事業における飲食物販売用	1,720,233	
		車両運搬具	普通乗用車1台	公益目的事業用車両運搬具	615,088	
			小型貨物等3台、スクーター2台	収益事業用車両運搬具	5	
		器具備品	デジタルカメラ等22点	公益目的事業用器具備品	1,220,613	
			冷蔵庫等72点	収益事業用器具備品	1,950,523	
		電話加入権	安佐動物公園 管理事務所	収益事業に係る電話回線(1回線)	74,984	
		投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	112,376	
			第327回利付国債	同上	1,238	
固定資産合計				588,740,958		
資産合計				885,808,914		

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか	委託料等の未払額	61,235,502
	未払消費税等	広島東税務署	平成28年度消費税及び地方消費税の未払額	9,967,000
	未払法人税等	広島東税務署	平成28年度法人税等の未払額	2,614,300
	前受金	広島動物愛好会等会員	平成29年度分前受会費	584,000
	買掛金	商品仕入先業者	売店等における商品仕入れの買掛額	8,896,836
	預り金	広島東税務署、厚生労働省年金局、広島市等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等	11,843,170
	賞与引当金	職員に対するもの	職員121名に対する賞与の支払いに備えたもの	31,300,026
流動負債合計				126,440,834
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員61名に対する退職金の支払いに備えたもの	448,524,572
固定負債合計				448,524,572
負債合計				574,965,406
正味財産				310,843,508

監 査 報 告 書

平成29年5月17日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理 事 長 岡 村 清 治 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監 事 神 田 敏 治
公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監 事 藤 田 悟

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実
は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上